

(22) カミツキガメ

爬虫類

分類：カメ目カミツキガメ科ケリュドラ属

学名：*Chelydra serpentina*

■原産地と分布

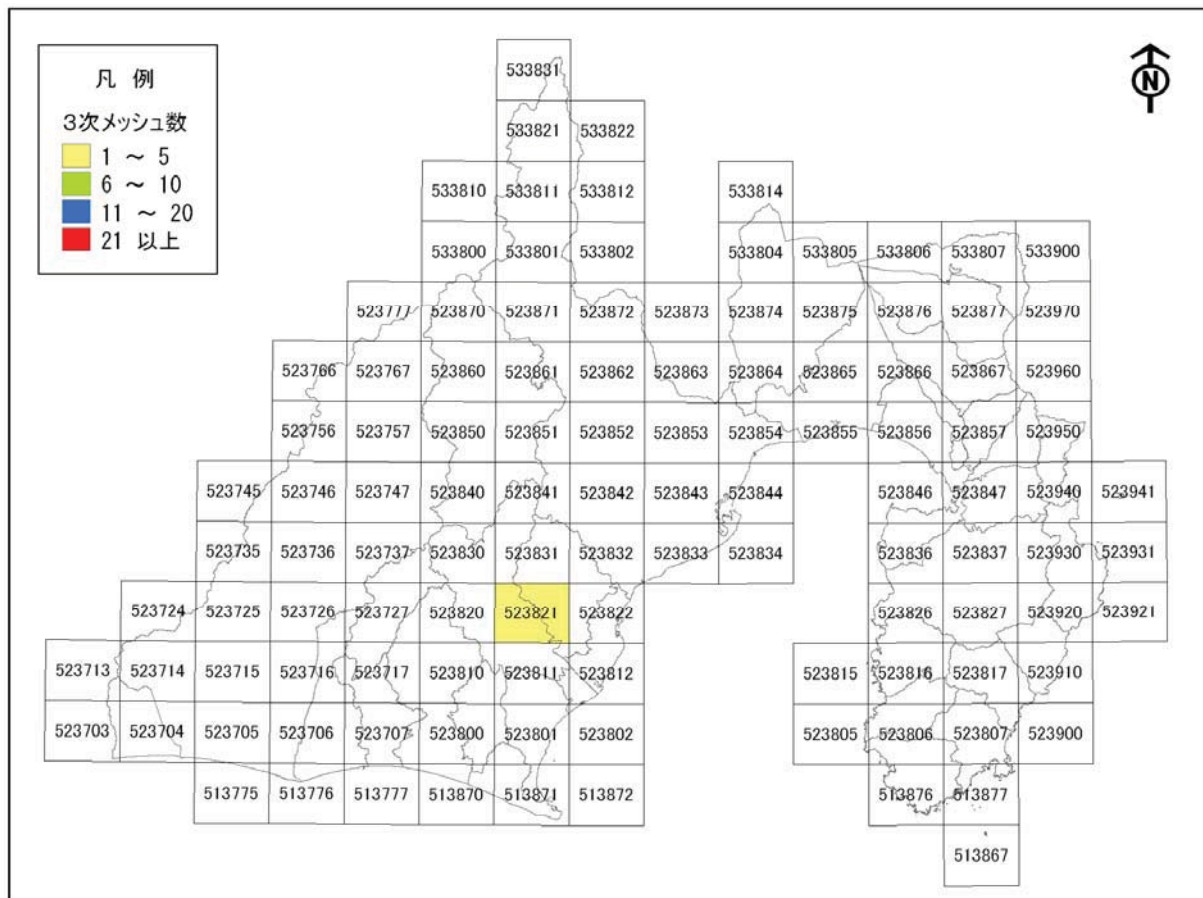
カナダ、アメリカ合衆国、中米、南米北部。

■形態的特徴

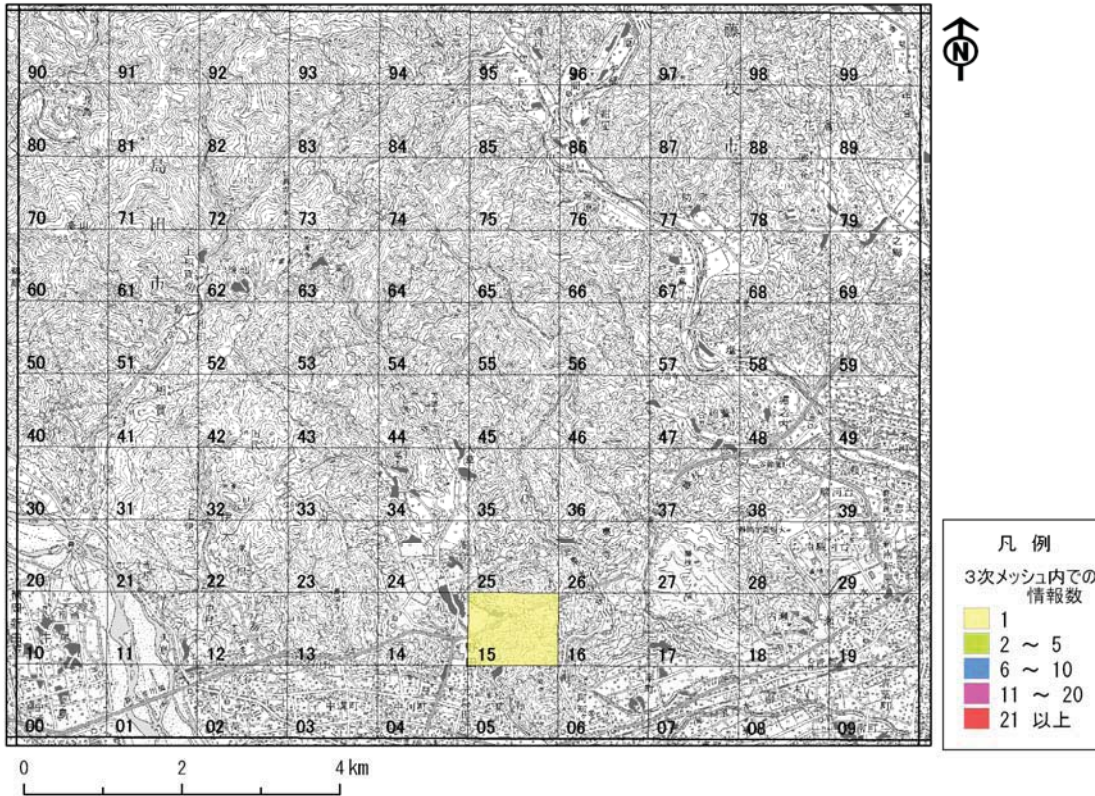
北米産の基亜種ホクベイカミツキガメで甲長約50cm、体重約34kgに達するが、他の亜種を含め35cmを越える個体は稀。甲は厚みがあり、幅広だが、その形には変異が大きい。背甲には3条のやや発達した隆条（キール）があり、後縁は鋸歯状。背甲は褐色ないしオリーブ色（若い個体はより暗色）で、甲板の継ぎ目付近がより暗色となり、黄色や橙色、ないし黒色の筋状模様や放射状模様が入ることがある。腹甲は小型で、橋（腹甲と背甲をつなぐ部分）が横方向に細長く伸びた十字型、幼体では暗色斑を持つことがあるが、成体では一様な黄色ないし黄褐色となる。頭部はかなり大型で、鼻面（吻端）は短くほとんど突き出さない。上顎の先端は尖るか、ほぼ平坦で、ほとんど屈曲しない。四肢は頑健でよく発達し、鋭い爪を備えている。尾は腹甲長に匹敵する長さ。尾の背面には骨質の大型鱗が1～3列になって並ぶ。



■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）



■各地の分布情報（3次メッシュ）
523821



(23) アノリス・アングスティケプス

爬虫類

分類：トカゲ目イグアナ科アノール属

学名：*Anolis angusticeps*

■原産地と分布

キューバ（フベントウド島を含む）、バハマ諸島

■形態的特徴

細い枝先を好む種（twig anole）の典型的なものであり、他種のアノールに比べて短い四肢や短い尾を持ち、体表には樹皮のような細かい模様がある。

頭胴長 50～70mm のグリーンアノールやブラウンアノールより小型である（平均頭胴長はキューバ産のもので 37.6mm、バハマ諸島のもので 47.7mm）。枝先に定位してあまり動かず、他のアノール類に比べるとディスプレイ行動の頻度が低く、走ったり跳びはねたりすることも少なく、待ち伏せ型の捕食を行うことが報告されている。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(24) グリーンアノール

爬虫類

分類：トカゲ目イグアナ科アノール属

学名：*Anolis carolinensis*

■原産地と分布

アメリカ合衆国東南部（バージニア州からフロリダ半島、テキサス州頭部まで）、バハマ諸島、グランドケイマン諸島、キューバ、メキシコに原産。グアム、ハワイ、ベリーズ、日本（小笠原諸島父島・母島、沖縄島）などに移入。

■形態的特徴

全長は平均12.5～20cm、最大23cm。尾は鼻先から肛門までの長さの2倍程度。頭は割に大きく、角張っていててっぺんは平ら。頭部から背中にかけてたてがみ状の突起がない。雄はピンク色のデュラップ（喉にある扇状の袋）を持ち、興奮すると広げる。デュラップにほとんど赤みがなく緑白色の個体もいる。また雌のデュラップは小さい。胴体は背、腹とも細かい鱗に覆われる。前肢、後肢とも指が膨らんでおり、膨らみの裏側には細かい溝状の筋があって、これをつるつるした葉などに止まることができる。体色は鮮やかな緑色のことが多いが、褐色や中間の色にもなる。目の周りがアイシャドーを塗ったように青い。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(25) ナイトアノール

爬虫類

分類：トカゲ目イグアナ科アノール属

学名：*Anolis equestris*

■原産地と分布

キューバ

■形態的特徴

頭胴長 188mm に達し、グリーンアノールやブラウンアノール（いずれも頭胴長 50～70mm）よりもはるかに大型である。樹上性で、ふつう 10m 以上の高木の樹冠部にみられる。大型昆虫を中心として、他のトカゲ類、カエル類、鳥類などさまざまなものを捕食する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(26) ガーマンアノール

爬虫類

分類：トカゲ目イグアナ科アノール属

学名：*Anolis garmanni*

■原産地と分布

ジャマイカ

■形態的特徴

アノール属において、本種は大型の種である。樹上性で、ふつう10m以上の高木の樹冠部にみられる。大型昆虫を中心として、他のトカゲ類、カエル類、鳥類などさまざまなものを捕食する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

分類：トカゲ目イグアナ科アノール属

学名：*Anolis sagrei*

■原産地と分布

メキシコ、ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス、キューバ、ジャマイカ、バハマ、グレナダに原産。アメリカ合衆国（フロリダ、ジョージア、テキサス、ルイジアナ、ハワイの各州）や台湾などに移入。

■形態的特徴

全長は平均13～20cm。尾は鼻先から肛門までの長さの2倍程度。頭は割に大きく、角張っていててっぺんは平ら。成熟した雄には頭部から背中にかけてたてがみ状の突起が生じることがある。雄は鮮やかなオレンジ色のデュラップ（喉にある扇状の袋）を持ち、興奮すると広げる。デュラップの縁が白っぽく縁取られることもある。胴体は、背、腹とも細かい鱗に覆われる。前肢、後肢とも指が膨らんでおり、膨らみの裏側には細かい溝状の筋があって、これをつるつるした葉などに止まることができる。体色は褐色で、緑色にはならない。雌の背面には濃褐色のジグザグ模様が出る。目の後ろに、まつげのような黒い模様が出る。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(28) ミドリオオガシラ

爬虫類

分類：トカゲ目ナミヘビ科ボイガ属

学名：*Boiga cyanea*

■原産地と分布

インド、中国南部、インドネシア、ミャンマー、タイ、マレー半島北部

■形態的特徴

全長 1.7～2m に達する。トカゲやカエル、鳥やネズミなどを捕食する。食性の幅が広い高次捕食者である。地上だけでなく、細長い体を利用して樹上の細い枝先でも活動する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(29) イヌバオオガシラ

爬虫類

分類：トカゲ目ナミヘビ科ボイガ属

学名：*Boiga cynodon*

■原産地と分布

インド、ミャンマーからインドネシア、フィリピンにかけて

■形態的特徴

全長 1.7～2m に達し、2.5m を超えることもある。トカゲやカエル、鳥やネズミなどを捕食する。食性の幅が広い高次捕食者である。地上だけでなく、細長い体を利用して樹上の細い枝先でも活動する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(30) マングローブヘビ

爬虫類

分類：トカゲ目ナミヘビ科ボイガ属

学名：*Boiga dendrophila*

■原産地と分布

東南アジア

■形態的特徴

全長1.7~2mに達し、2.5mを超えることもある。トカゲやカエル、鳥やネズミなどを捕食する。食性の幅が広い高次捕食者である。地上だけでなく、細長い体を利用して樹上の細い枝先でも活動する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(31) ミナミオオガシラ

爬虫類

分類：トカゲ目ナミヘビ科ボイガ属

学名：*Boiga irregularis*

■原産地と分布

オーストラリア北部、インドネシア東部、ニューギニア、ソロモン、およびその付近の島々に原産、グアムなどに定着

■形態的特徴

全長は平均1.5～2m、最大2.3m。胴体は高さよりも幅が狭く、腹面の両脇はわずかに角張っている。頭部は大きく、首からはっきりと区別できる。目も大きく、その直径は目から上唇の縁までの距離の2倍くらい。瞳はネコの目のように縦に長い。胴体の鱗はなめらかで、胴中央部で19～23列あり、背中の中心線上の鱗は両側の鱗よりも幅広く縦長の六角形を呈する。茶色の地にぼやけた暗色の斑紋があり、大きな体側部の斑紋と背中側の斑紋が交互に並ぶ。上顎骨の後方の1ないし2本の歯は大きく、溝を持ち、ここに弱い毒液が分泌される。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(32) ボウシオオガシラ

爬虫類

分類：トカゲ目ナミヘビ科ボイガ属

学名：*Boiga nigriceps*

■原産地と分布

東南アジアのタイ南部、マレー半島からボルネオ、スマトラ、ジャワ

■形態的特徴

全長1.7~2mに達する。トカゲやカエル、鳥やネズミなどを捕食する。食性の幅が広い高次捕食者である。地上だけでなく、細長い体を利用して樹上の細い枝先でも活動する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

分類：トカゲ目ナミヘビ科エラフェ属

学名：*Elaphe taeniura friesei*

■原産地と分布

台湾。沖縄島に移入。

■形態的特徴

全長は平均2.2m、最大2.7m。胴体の側面には、高い位置と低い位置に交互に黒い斑紋があり、高い位置のものはしばしば背中を横断して左右の斑紋がつながる。これらの斑紋は後方に行くにつれ前後につながり、上下に広がり、胴体後部から尾にかけては黒い帯となり、背中の中心線と側面下部に黄みがかかった縦縞が残る。尾の腹面も黒く中心線上のみ明るい色をしている。頭部は前後に細長く、目から後方に、黒くて太い縦縞が延びる。瞳は丸い。胴体の腹面の両脇は角張っている。舌は黒く、左右が青く縁取られる。子ヘビの色彩も親に似ている。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

分類：トカゲ目クサリヘビ科プロトボトロプス属

学名：*Protobothrops mucrosquamatus*

■原産地と分布

台湾、中国、ベトナム北部、ミャンマー、インド東部（アッサム）、バングラデシュ。沖縄島に移入。

■形態的特徴

全長は平均70～100cm、最大121cm。細長い体型で、首は細く、頭部は長三角形で首から区別できる。目の少し前にはピット器官と呼ばれるくぼみがある。淡褐色の地に、暗褐色の斑紋が、背中の中心にそって1列と、左右の体側に1列ずつ並んでいる。背中の中央の斑紋の方が大きく、しばしば前後につながって、鎖状の模様になる。頭部の背面には縁を残して暗色の部分があり、目から後方に向かっても、暗色の線が延びる。瞳はネコの目のように縦長。胴体中央部の鱗は、大陸産では25列、台湾産では主に27列並んでいる。腹側の幅の広い鱗は、のどから総排出口までで、194～233枚、尾の腹側の対になっている鱗は、総排出口の後ろから尾端の鱗までで70～100対ある。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(35) プレーンズヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo cognatus*

■原産地と分布

アメリカ合衆国中部、カナダ南部、メキシコ北部

■特徴

温帯域に分布しており、河川周辺にある乾燥した荒地、氾濫原、耕作地などに生息し、昆虫をはじめとする小動物を捕食する。水溜り、氾濫原の湿地、河川などの浅い所に産卵する。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(36) キンイロヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo guttatus*

■原産地と分布

南アメリカのエクアドル、コロンビア、ギアナ3国、ベネズエラ、ブラジルなど

■特徴

南アメリカの熱帯から亜熱帯域に分布しており、河川に近い地面や熱帯雨林の林床で落葉が深く堆積した場所などに生息する。夜行性で、飼育下では昆虫をはじめとする小動物を貪欲に捕食する。水溜りなどで産卵する。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(37) オオヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo marinus*

■原産地と分布

アメリカ合衆国から中南米（ブラジルまで）に原産。カリブ海諸島、南太平洋の諸島、オーストラリア、ニューギニア、東南アジア、台湾、日本（大東諸島・小笠原諸島、八重山諸島）に広く移入。

■形態的特徴

鼻先から肛門までの長さは10～20cm。最大23cm。頭は割に大きく、骨状の突起が角張っていて目立つ。ヒキガエル属には、目の後ろに毒を出すためのコブ（耳腺）があるが、オオヒキガエルの耳栓は極端に大型で、菱形をしている。若い個体の肩には対になった模様があるが、雄や年をとった雌には見られない。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(38) アカボシヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo punctatus*

■原産地と分布

アメリカ合衆国カリフォルニア州南西部からカンザス州西部以南、メキシコのサンルイポトシまで

■特徴

温帯域に分布しており、乾燥地の岩石などからなる峡谷、草地、林などに生息し、小動物を捕食する。水溜りや河川沿いの溜まりなどに産卵する。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(39) オークヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo quercicus*

■原産地と分布

アメリカ合衆国ルイジアナ州南西部からヴァージニア州南西部にかけての沿岸地方、及びフロリダ半島

■特徴

温帯域に分布しており、マツやナラ・カシの仲間からなる雑木林、海辺の林などに生息し、やや開けて草が生えているところによくみられる。昆虫、クモなどをはじめとする小動物を捕食する。水溜りや池などの浅い所に産卵する。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(40) テキサスヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo speciosus*

■原産地と分布

アメリカ合衆国南部、及びメキシコ北部

■特徴

温帯域に分布しており、草地、耕作地、牧草地などに生息し、小動物を捕食する。水溜りや溜池、水路などに産卵する。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(41) コノハヒキガエル

両生類

分類：カエル目ヒキガエル科ブフォ属

学名：*Bufo typhonius*

■原産地と分布

南アメリカのペルー、ボリビア、エクアドル、コロンビア、ギアナ3国、ベネズエラ、ブラジルなど

■特徴

南アメリカの熱帯から亜熱帯域に分布しており、低山帯から低地の森林に主に生息するほか、開放地の湿った環境でもみられる。夜行性で、飼育下では昆虫をはじめとする小動物を貪欲に捕食する。水溜りなどに産卵し、繁殖力が旺盛である。皮膚（特に鼓膜の後方にある耳腺）から毒液を分泌する。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(42) キューバズツキガエル

両生類

分類：カエル目アマガエル科ズツキガエル属

学名：*Osteopilus septentrionaris*

■原産地と分布

キューバ、ケイマン諸島、バハマ諸島原産。ハワイ、フロリダ、バージン諸島、コスタリカに侵入している。

■形態的特徴

樹上性のカエルとしては大型で、成熟個体の鼻先から肛門までの長さは雄で8.5cm、雌で10.2cm程度までだが、16.5cmにも達した雌が記録されている。四肢の指には吸盤がある。頭骨が皮膚と癒合しているため、体を反らせると頭部の後方に皮膚のしわができる。背面の皮膚は粗雑で多数の小さい隆起がある。背面は褐色であるが、赤っぽいものや緑色を帯びたものもいる。背面全体が鮮やかな緑色になることはない。背面に虫食い状の斑紋を持ち後足の腿節と脛節に目立つ横縞を持つ個体が多いが、全く無地のものもいる。みずかきの発達が悪く、特に前足ではほとんど認められない。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(43) コキーコヤスガエル

両生類

分類：カエル目ユビナガガエル科コヤスガエル属

学名：*Eleutherodactylus coqui*

■原産地と分布

プエルトリコ原産。ハワイ、バハマ、ドミニカ共和国、ガラパゴス諸島、フロリダ、バージン諸島などに侵入している。

■形態的特徴

成熟個体の鼻先から肛門までの長さは3～6cm程度。四肢はやや短く、指先には発達した吸盤がある。吻端は尖って見える。背面の皮膚は粗雑で多数の小さい隆起があるが、目立つイボや隆条はない。背面は褐色や灰色で、体側に淡黄色の縦帯を持つ個体や、背面正中線上に淡色の細い縦線を持つ個体がいるが、全く無地のものもいる。目の後方から鼓膜の上端にかけて黒っぽい縦線を持つ個体が多い。目の虹彩の上半分が金色で下半分は赤銅色。前足のみずかきはなく、後足でもほとんど認められない。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(44) ウシガエル

両生類

分類：カエル目アカガエル科アカガエル属

学名：*Rana catesbeiana*

■原産地と分布

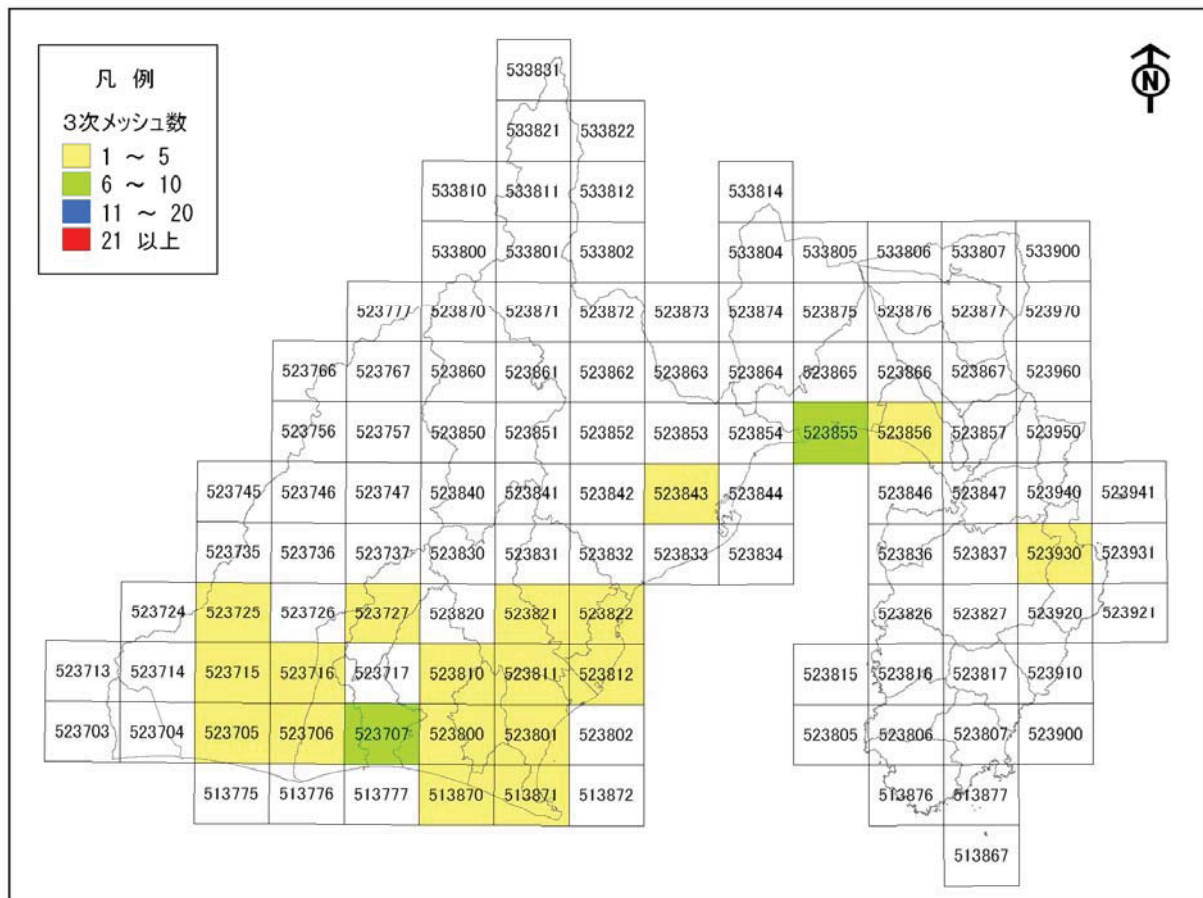
北アメリカ東部（カナダ東南部からメキシコ中部に至る）。食用のために、西インド諸島やアメリカ合衆国西部、ヨーロッパ、台湾、韓国、日本（北海道南部から小笠原諸島、八重山諸島に至る）等に広く移入されている。

■形態的特徴

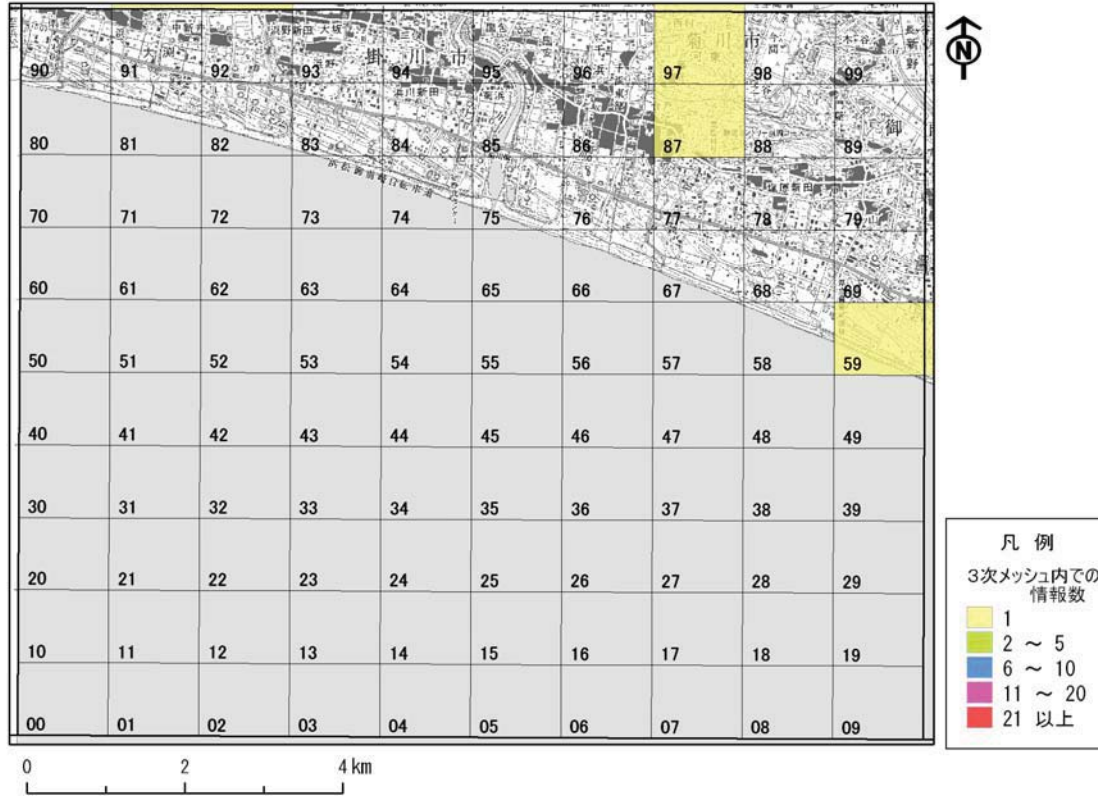
きわめて大型になるカエルで、成熟個体の鼻先から肛門までの長さは11～18cm。変態したばかりの子ガエルでも4～6cmある。後足のみずかきがよく発達しており、広がると目立つ。目の後ろから鼓膜の上縁を経て下向きに折れ曲がる皮膚のひだが明瞭。これより後方には皮膚のひだ（背側線隆条）がない。背面の皮膚はややざらつき、腹面は平滑。背面、腹面とも虫食い状の不規則な褐色斑を有するものが多く、大腿下面の黒斑が目立つ個体が多い。若い個体は背面に小さな黒斑が散らばっている。雄の鼓膜はきわめて大型で、目の直径の1.3～1.7倍に達する。雄の喉は黄色い。



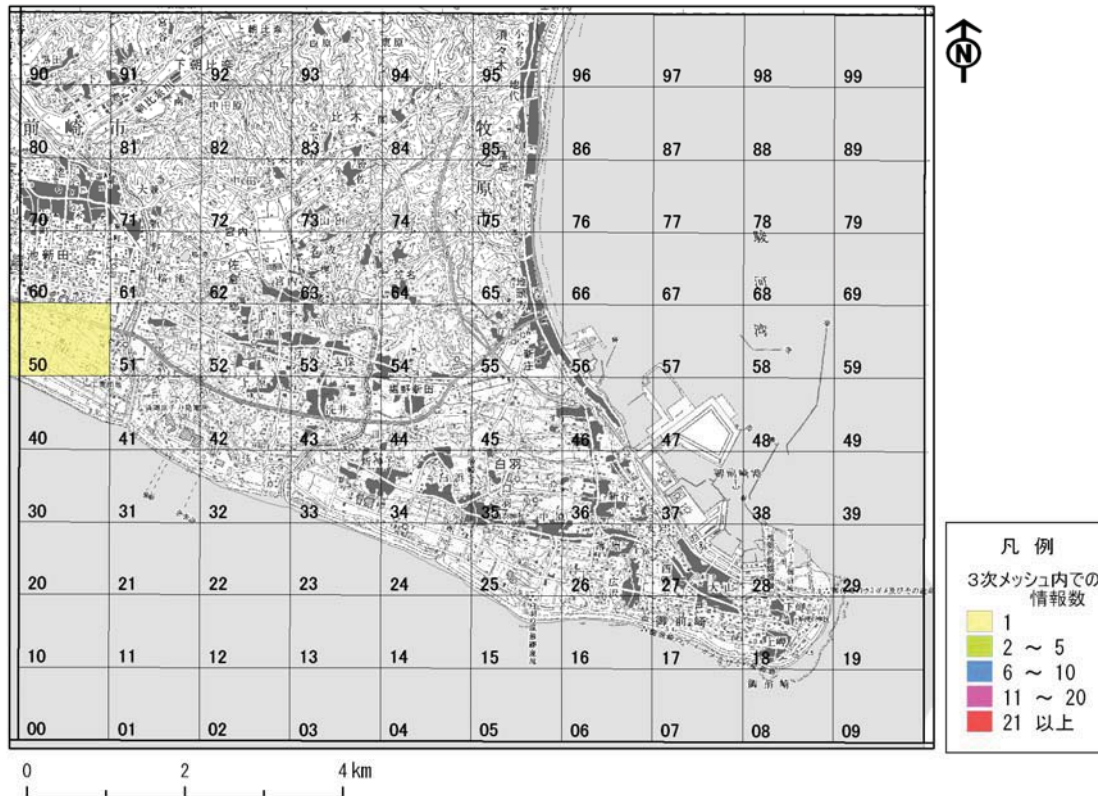
■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）



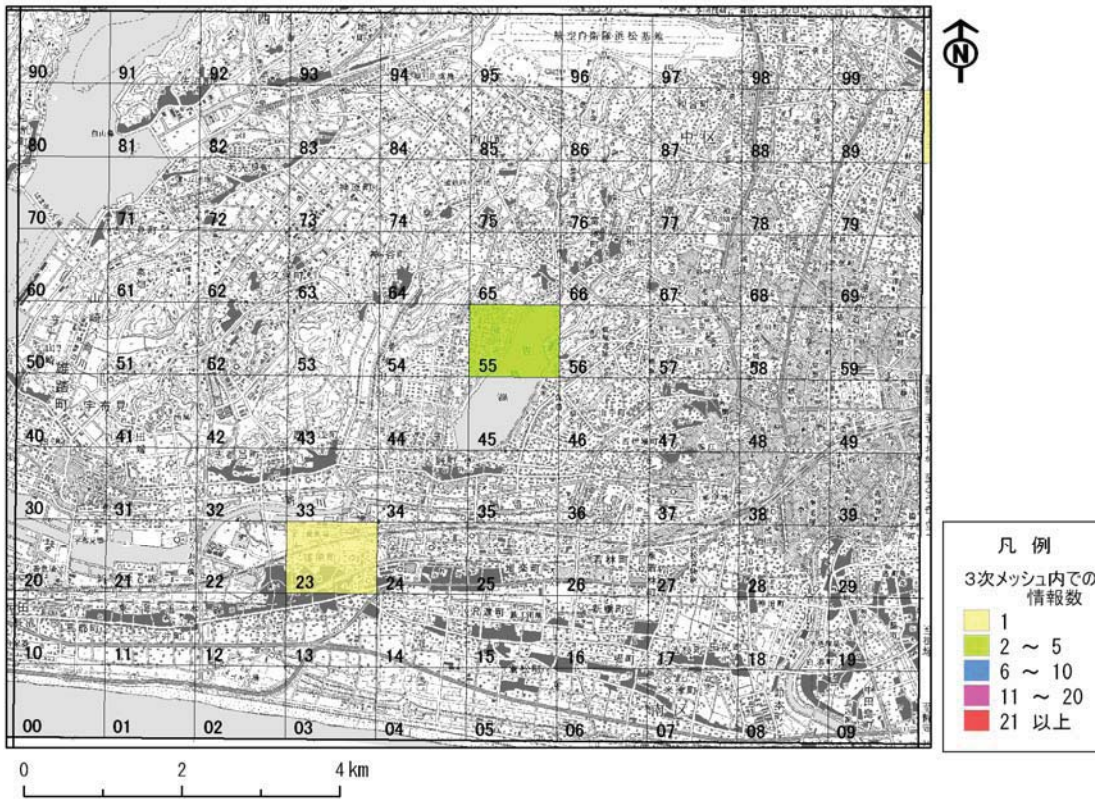
■各地の分布情報（3次メッシュ）
513870



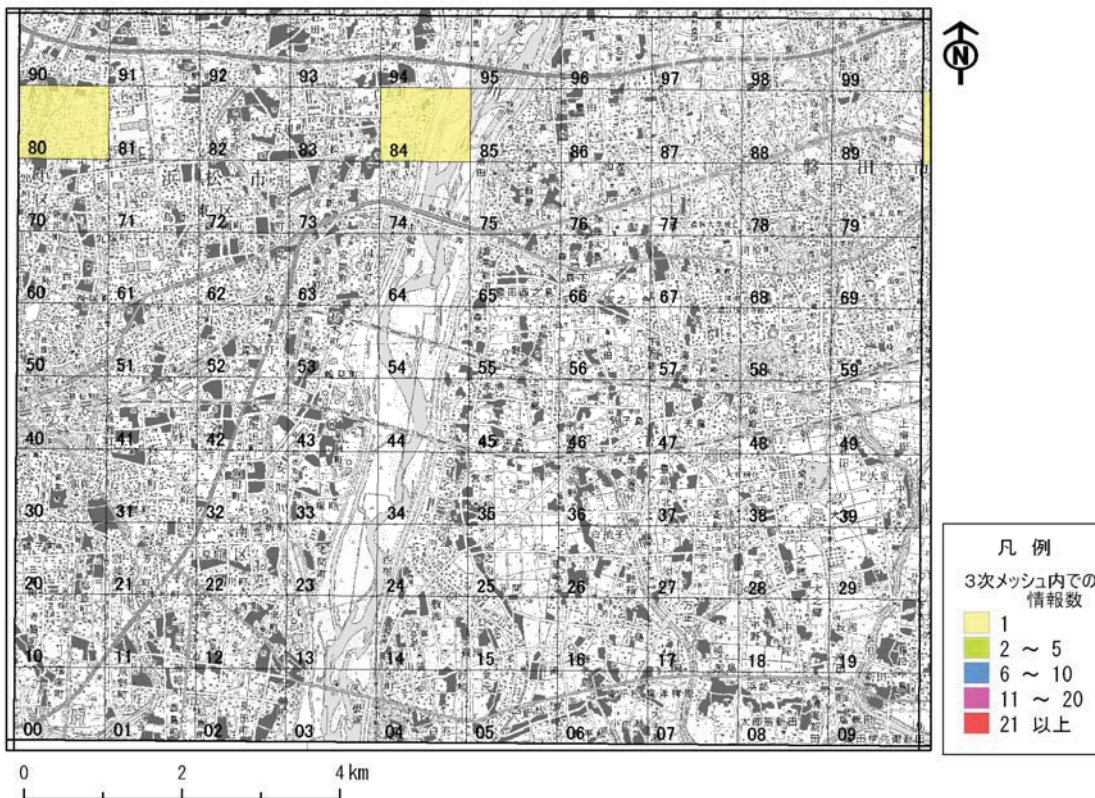
513871



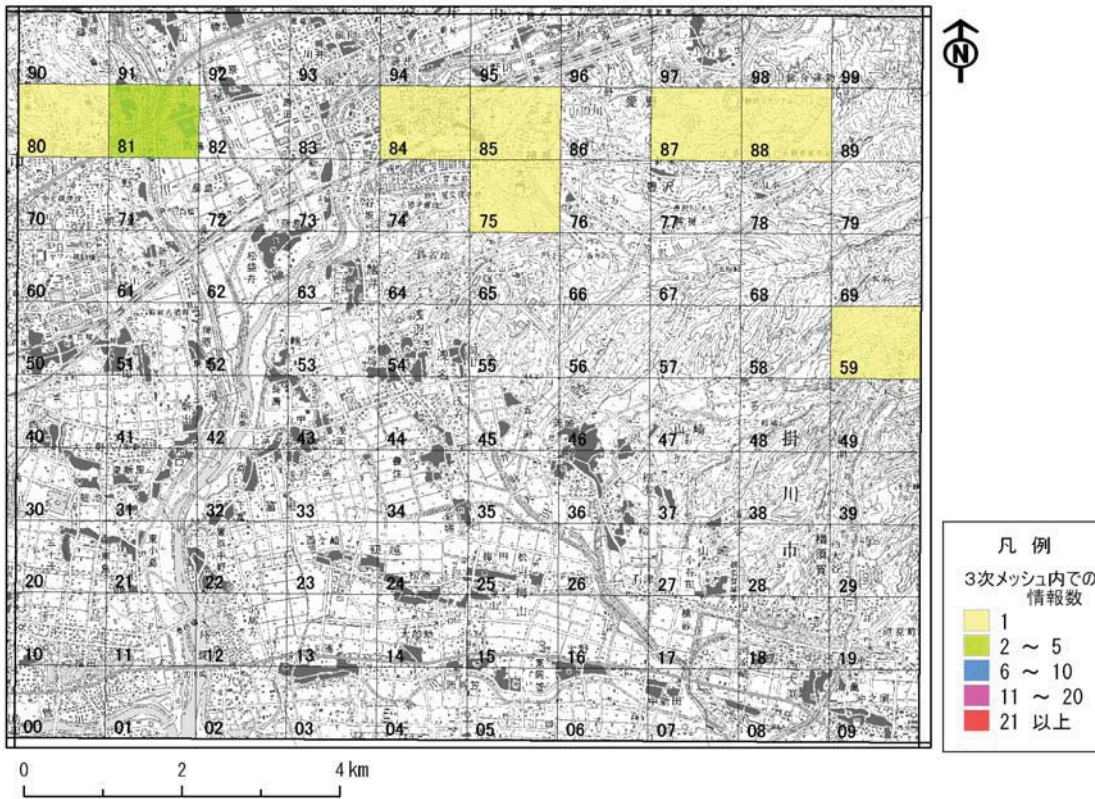
523705



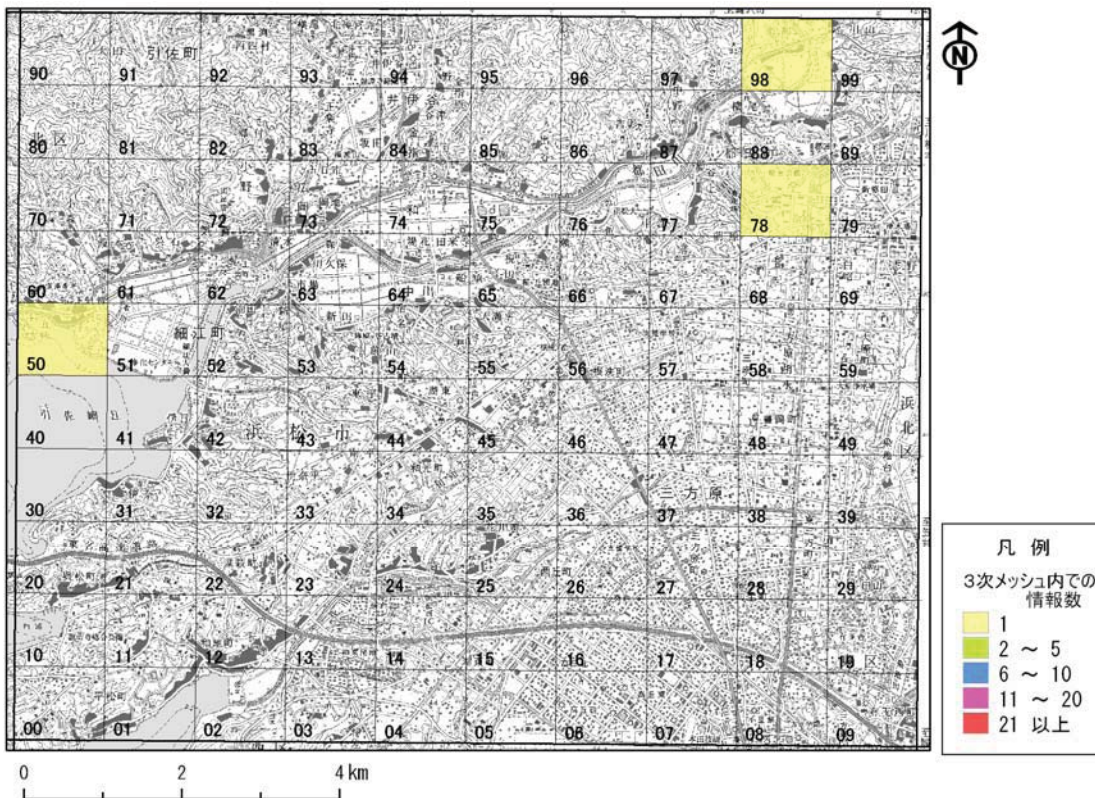
523706



523707



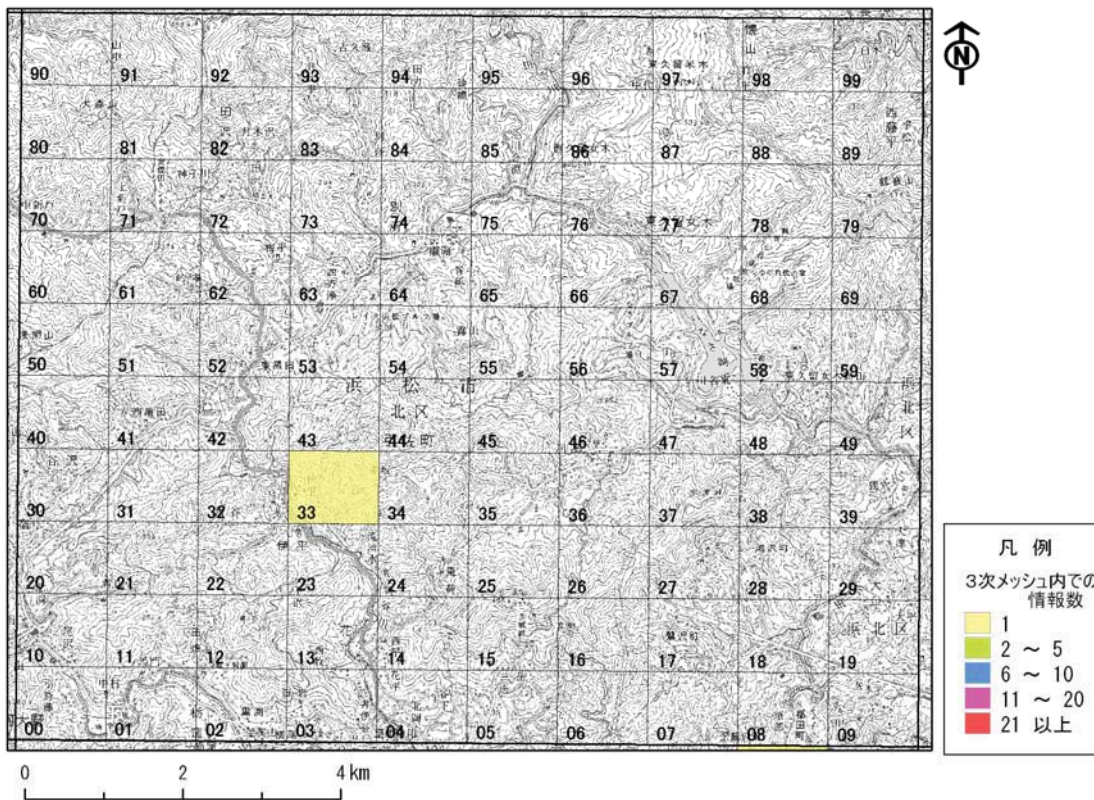
523715



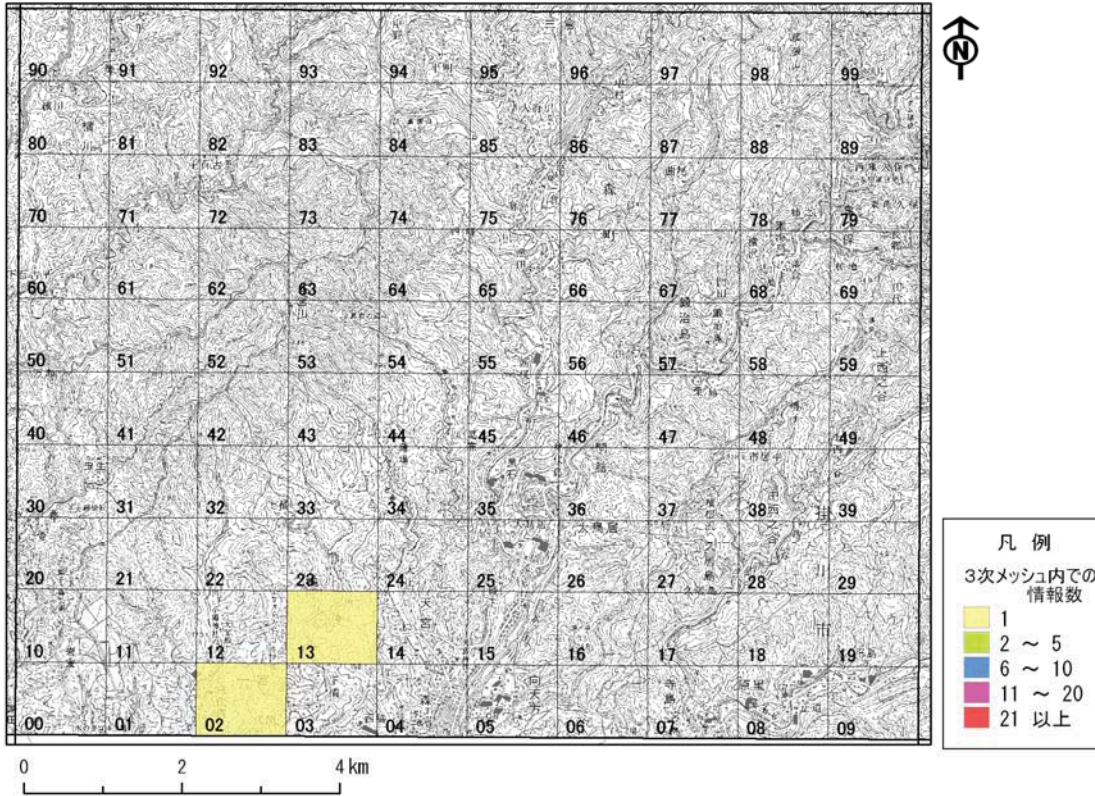
523716



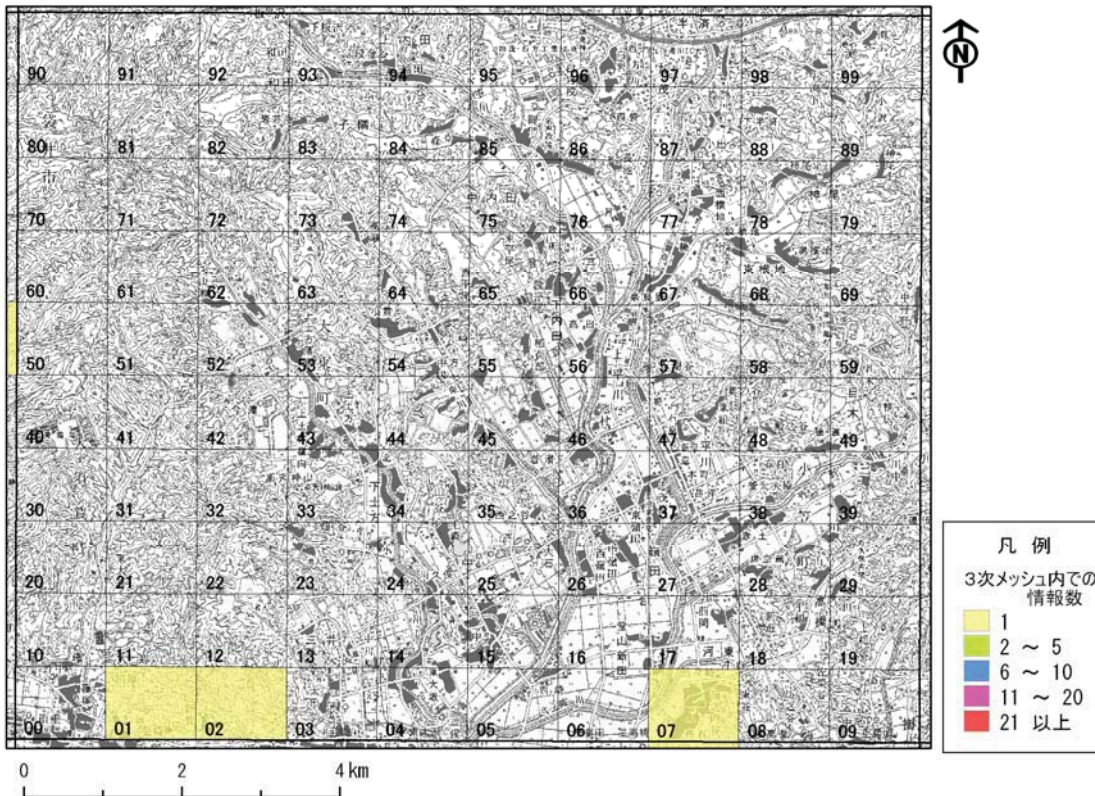
523725



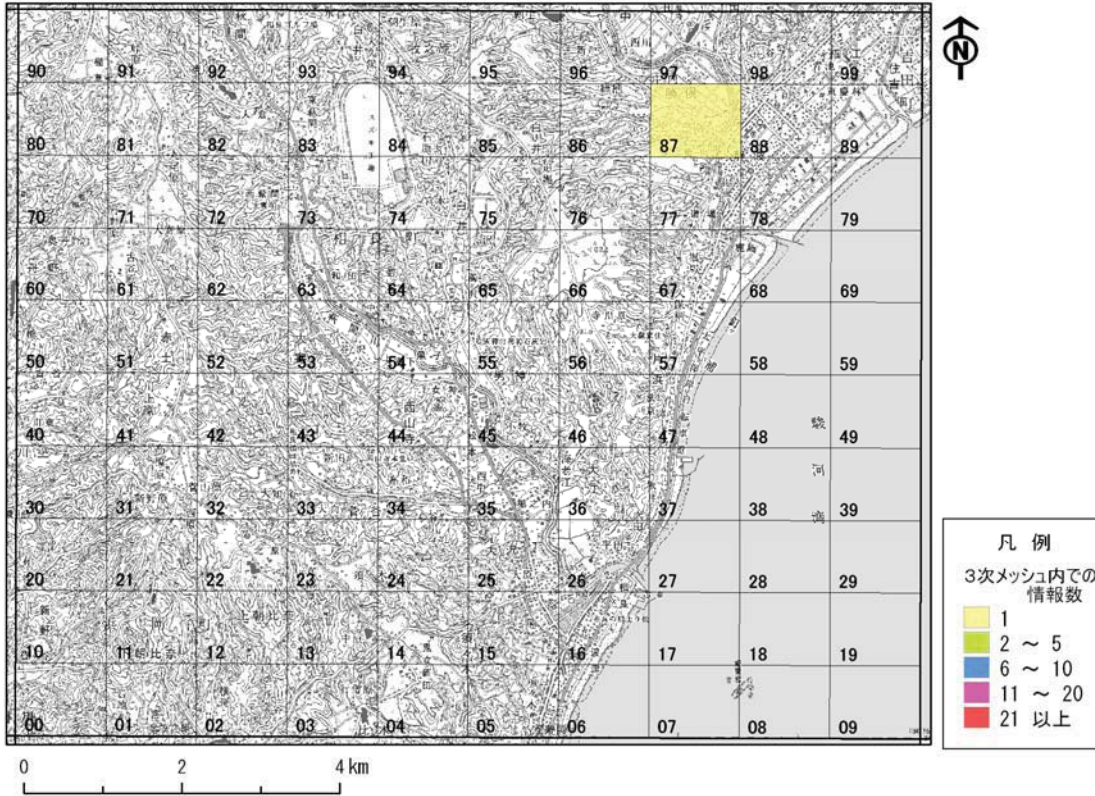
523727



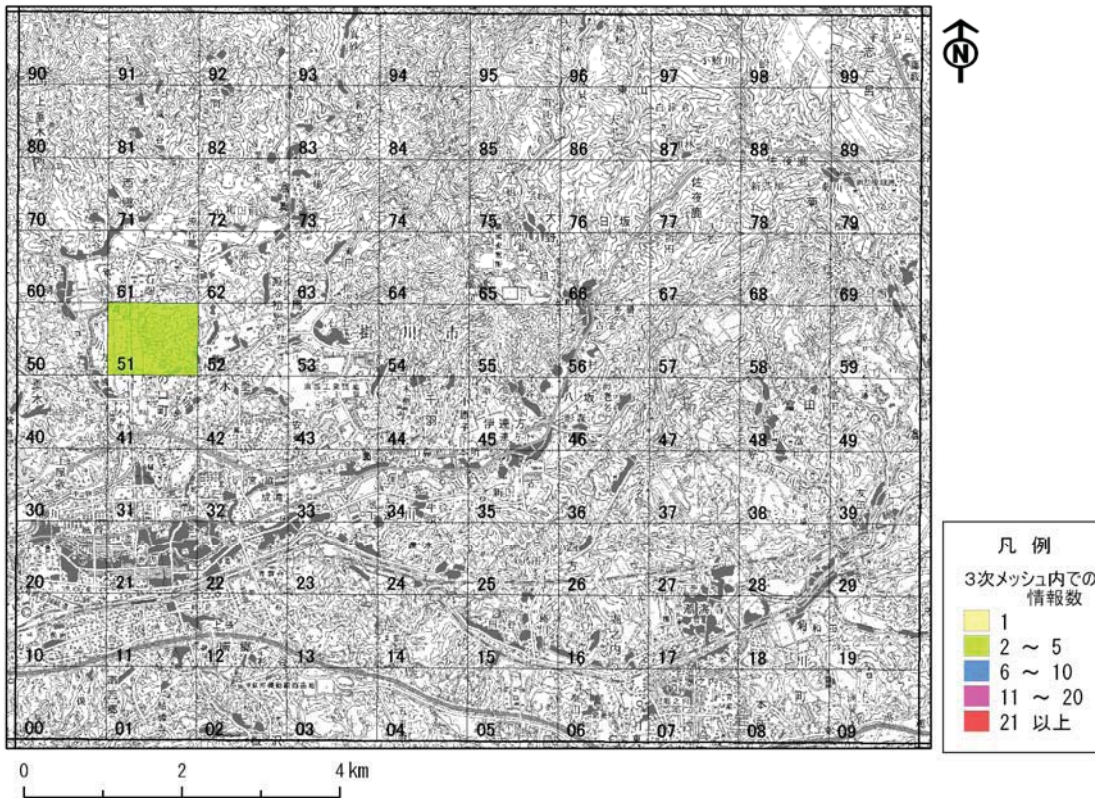
523800



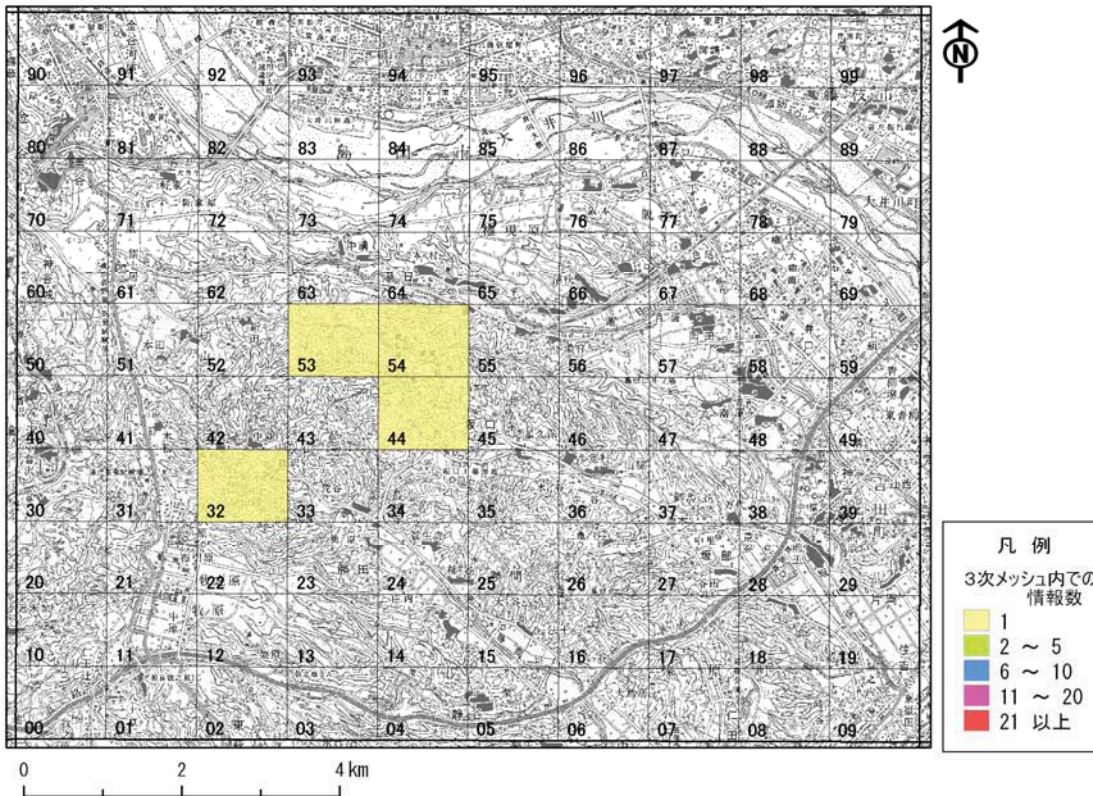
523801



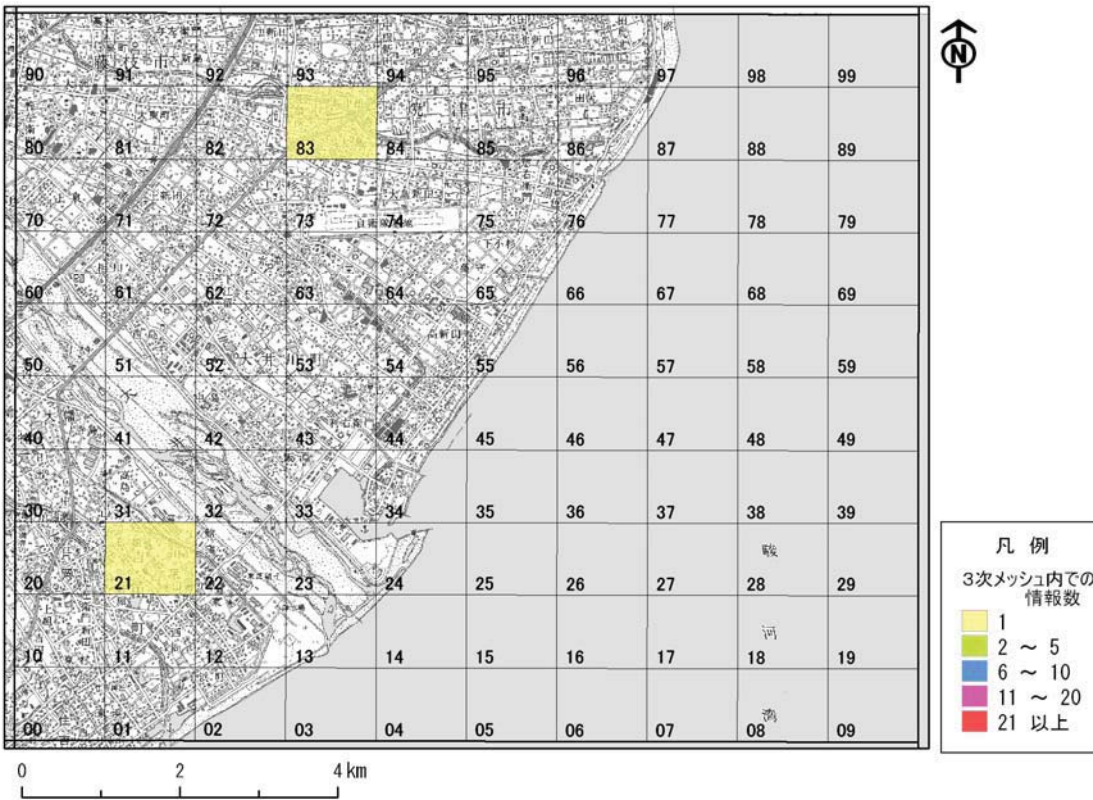
523810



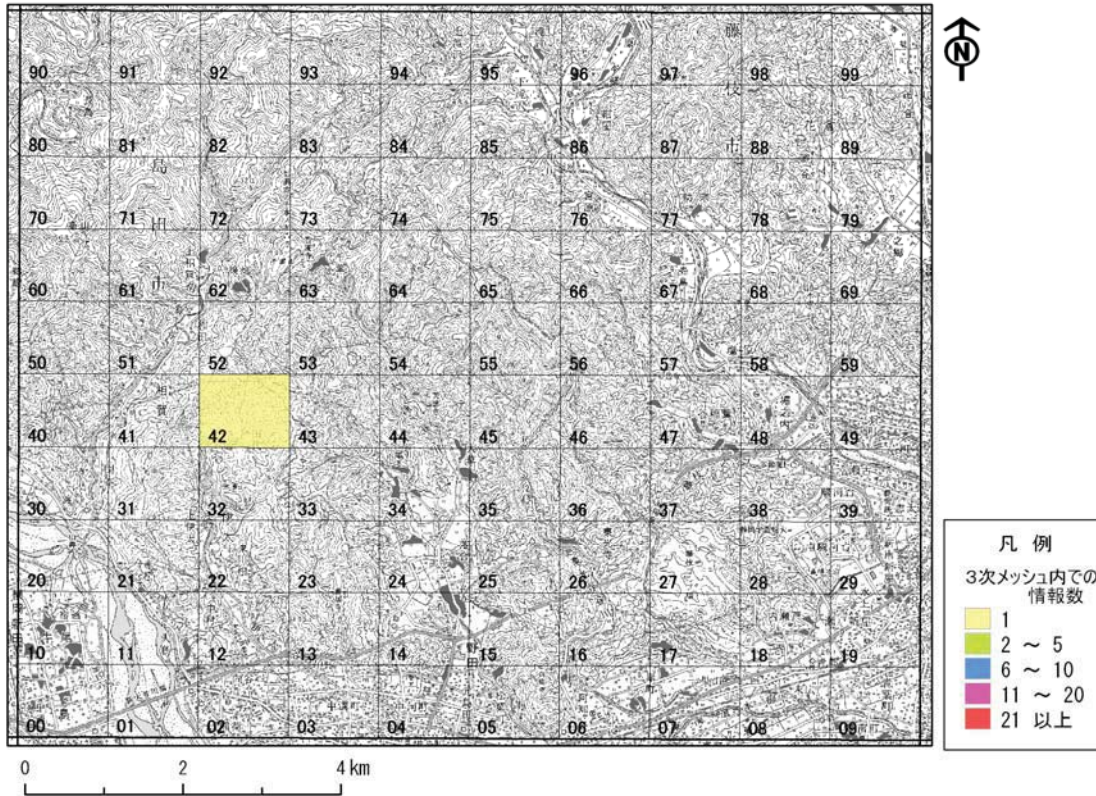
523811



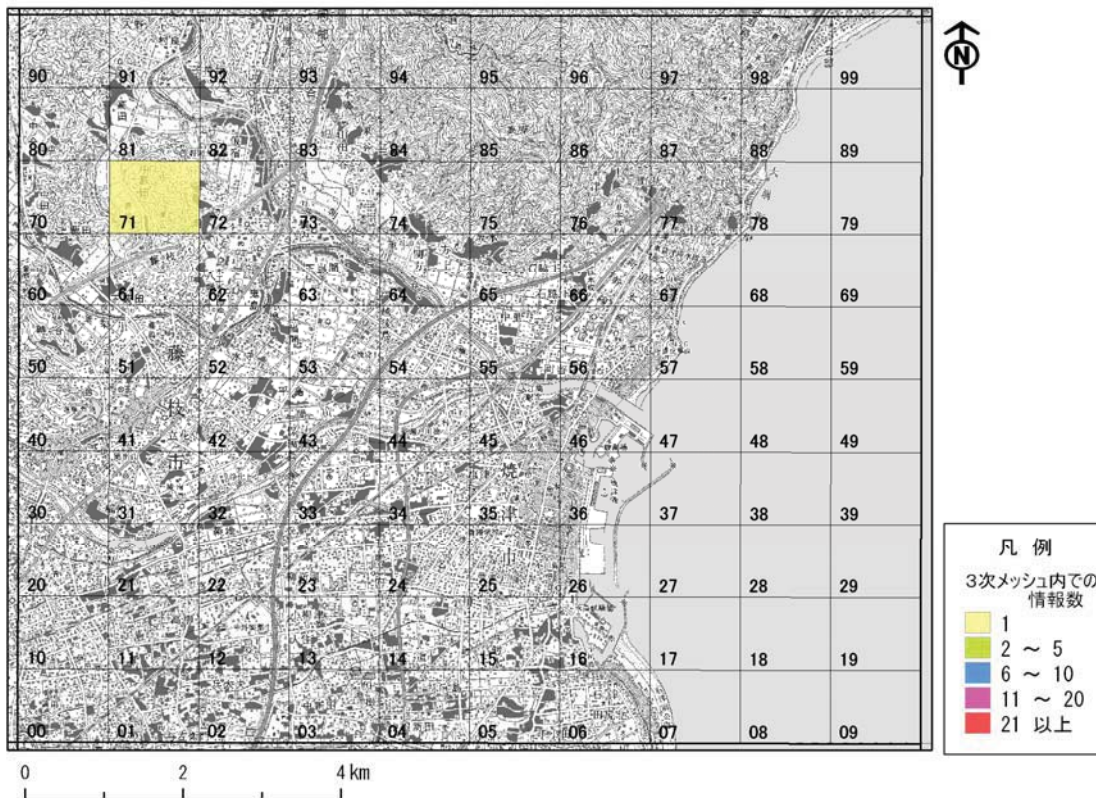
523812



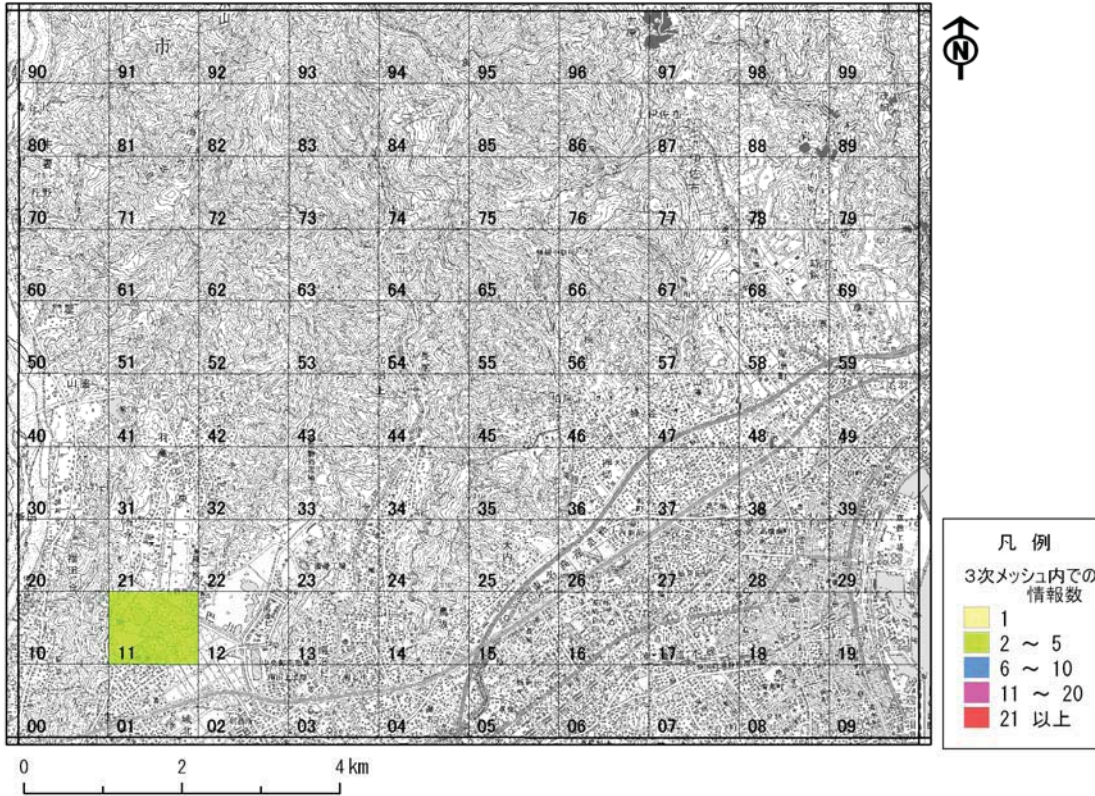
523821



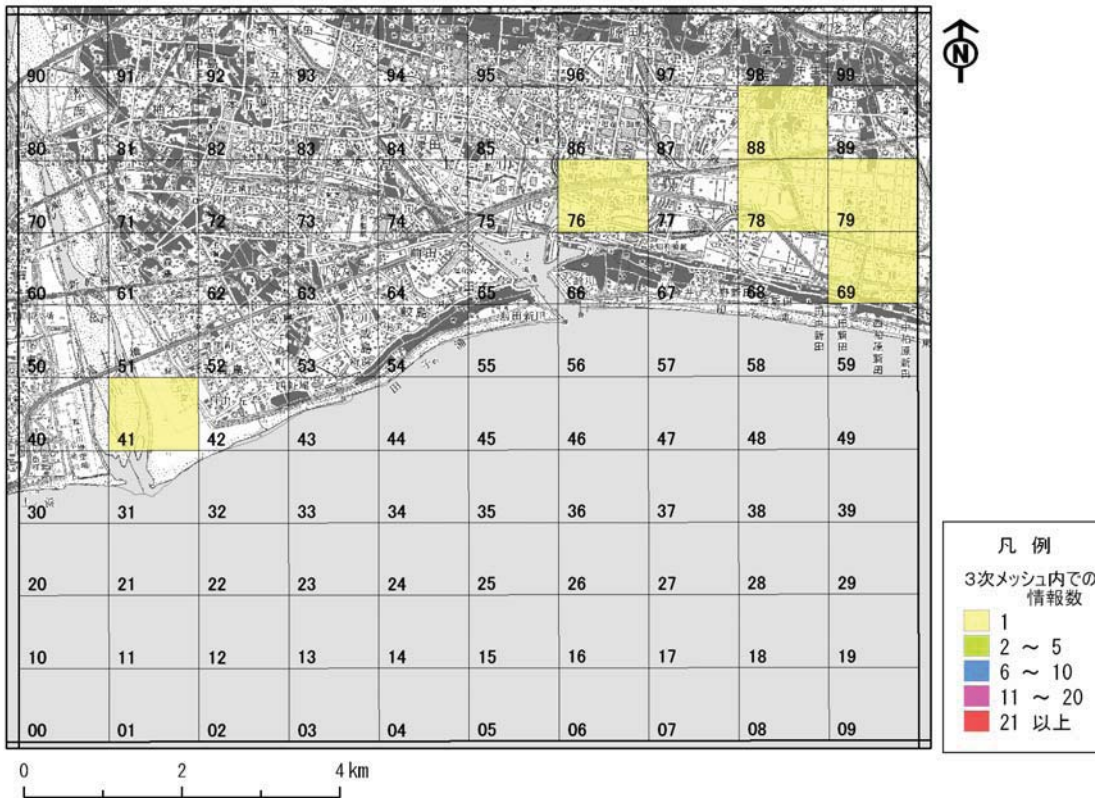
523822



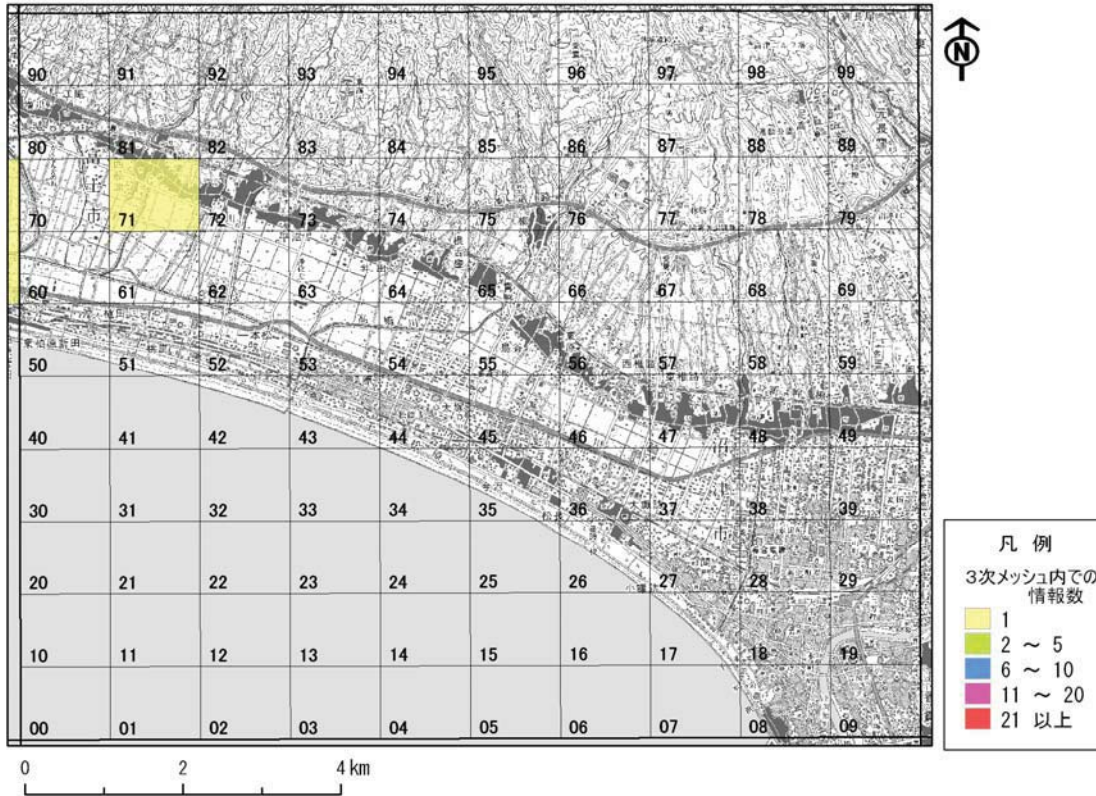
523843



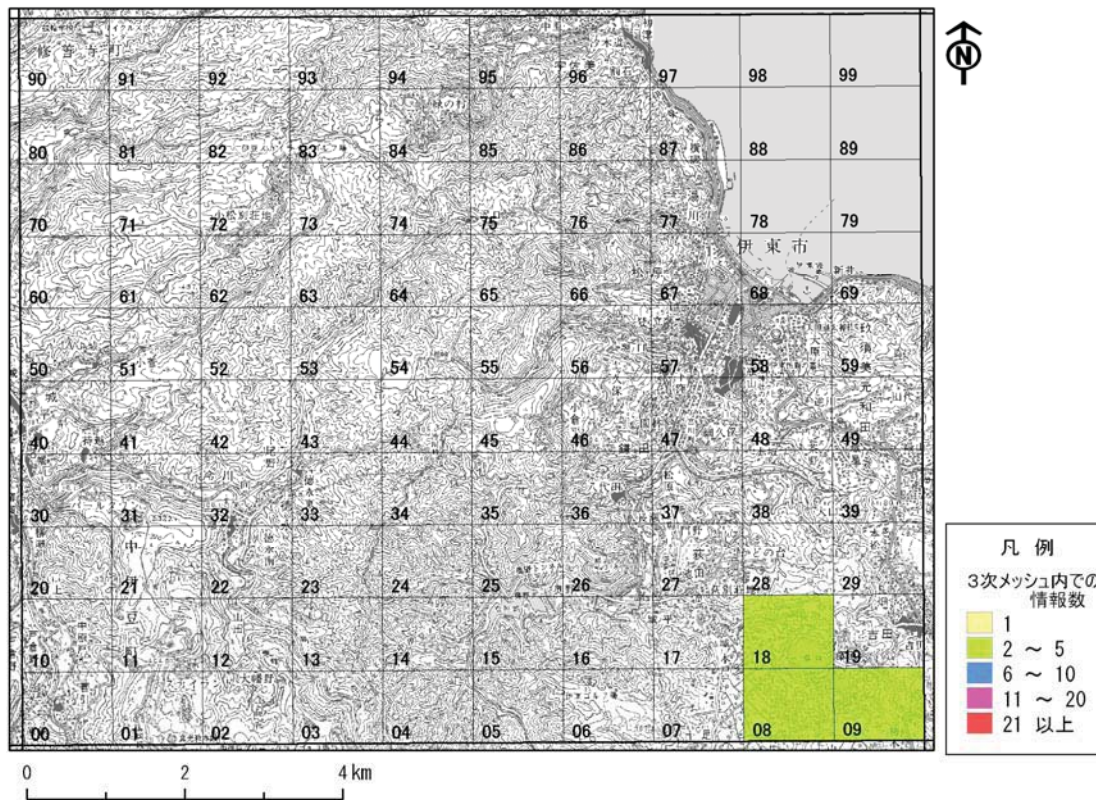
523855



523856



523930



(45) シロアゴガエル

両生類

分類：カエル目アオガエル科シロアゴガエル属

学名：*Polypedates leucomystax*

■原産地と分布

東南アジア原産（ネパール、インド東部、海南島からスマトラ島、フィリピンに至る）。フィリピンのものは外来という説もある。日本では沖縄島と周囲の伊江島など、宮古と周囲の伊良部島などに定着し、石垣島からも記録されている。

■形態的特徴

中型のカエルで、成熟個体の鼻先から肛門までの長さは5～7cm。体は比較的細長く、後足が長く痩せて見える。四肢の指には吸盤があり、木に登ることができる。目の後ろから鼓膜の上を経て後方に延びる隆条があり、この隆条の下縁に沿って体側に黒色の帯のある個体が多い。背面の皮膚はやや鮫肌状で、喉から胸の皮膚は平滑。背面は褐色で緑色になることはない。背面から足にかけて濃色の縦縞を数本持つものが多いが、縦縞の代わりに小さい黒点を持つものやほとんど無地のものもいる。みずかきの発達が悪く、特に前足ではほとんど認められない。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(46) チャネルキャットフィッシュ

魚類

分類：ナマズ目アメリカナマズ科イクタルス属

学名：*Ictalurus punctatus*

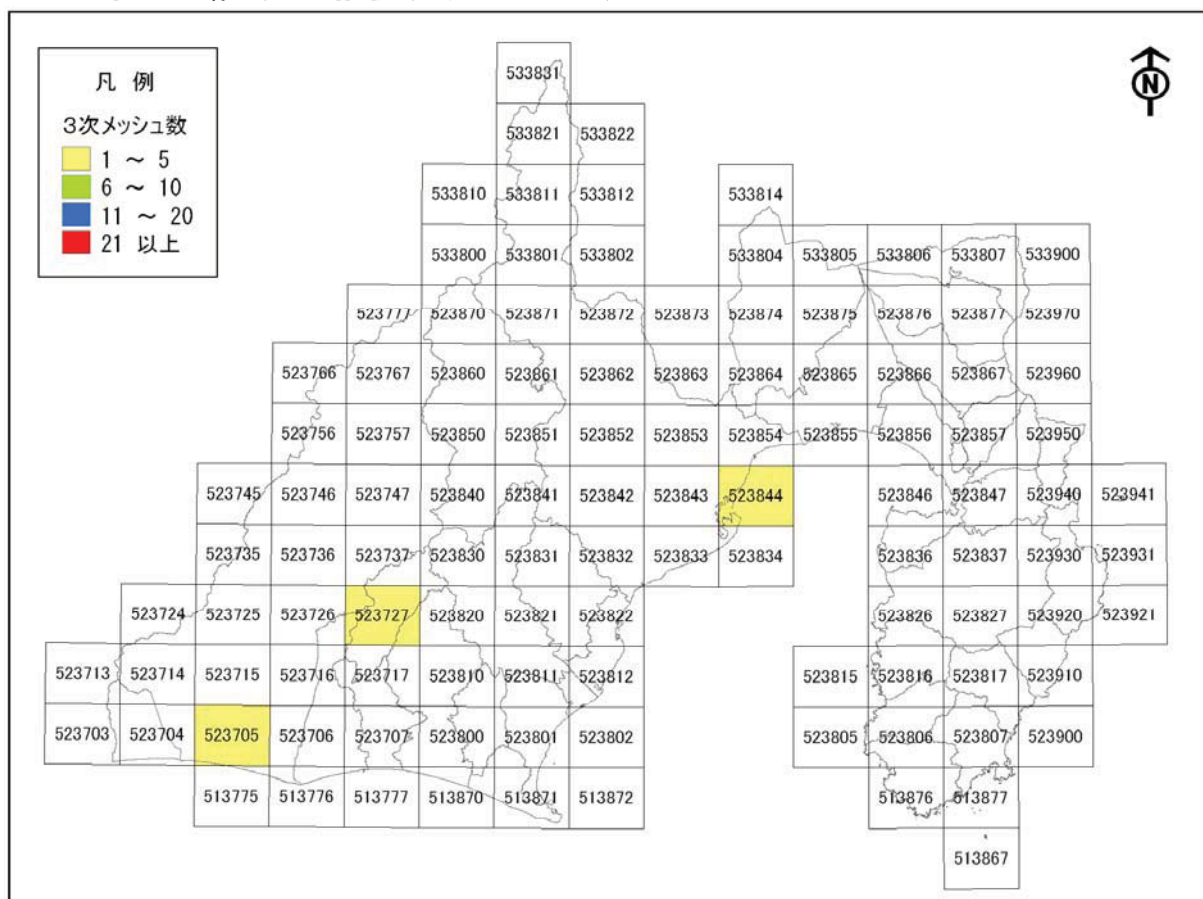
■原産地と分布

原産地は北アメリカ（メキシコ北部～アメリカ合衆国およびカナダ南部）。現在では、日本を含む世界各地に移植されている。

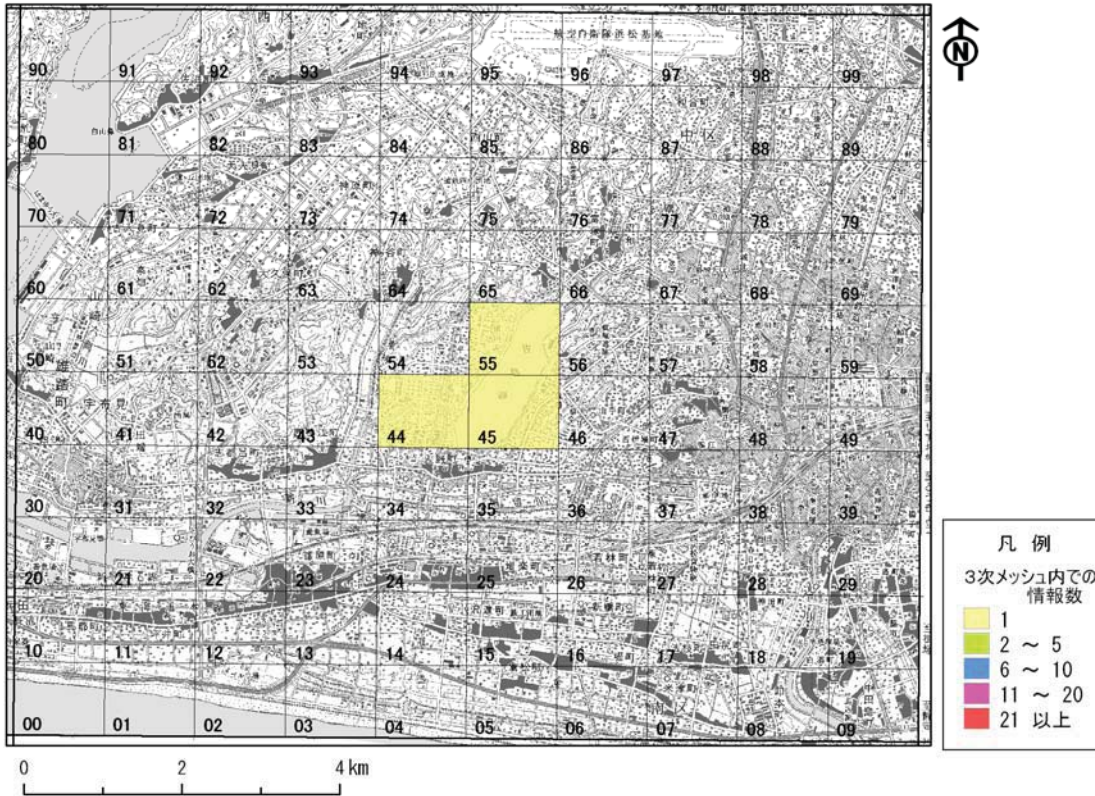
■形態的特徴

背鰭（せびれ）は三角形にちかい形をしており、そのはるか後方に小さな脂鰭（あぶらびれ）がある。尾鰭（おびれ）は深く切れ込み、上下両葉の先端はむしろ尖る。頭部に4対のヒゲがある。そのうちの1対は鼻孔（びこう）付近から派生し、強く上を向く。体の背側は暗灰色で、腹方に向かうにつれ黄みあるいは青みがかった淡灰色となる。腹部は白色、ふつう体側に小黑点がまばらに散在する。大型個体ではふつう体色が黒ずみ、斑点も不明瞭となる。最大で全長1.3m程度まで成長する。

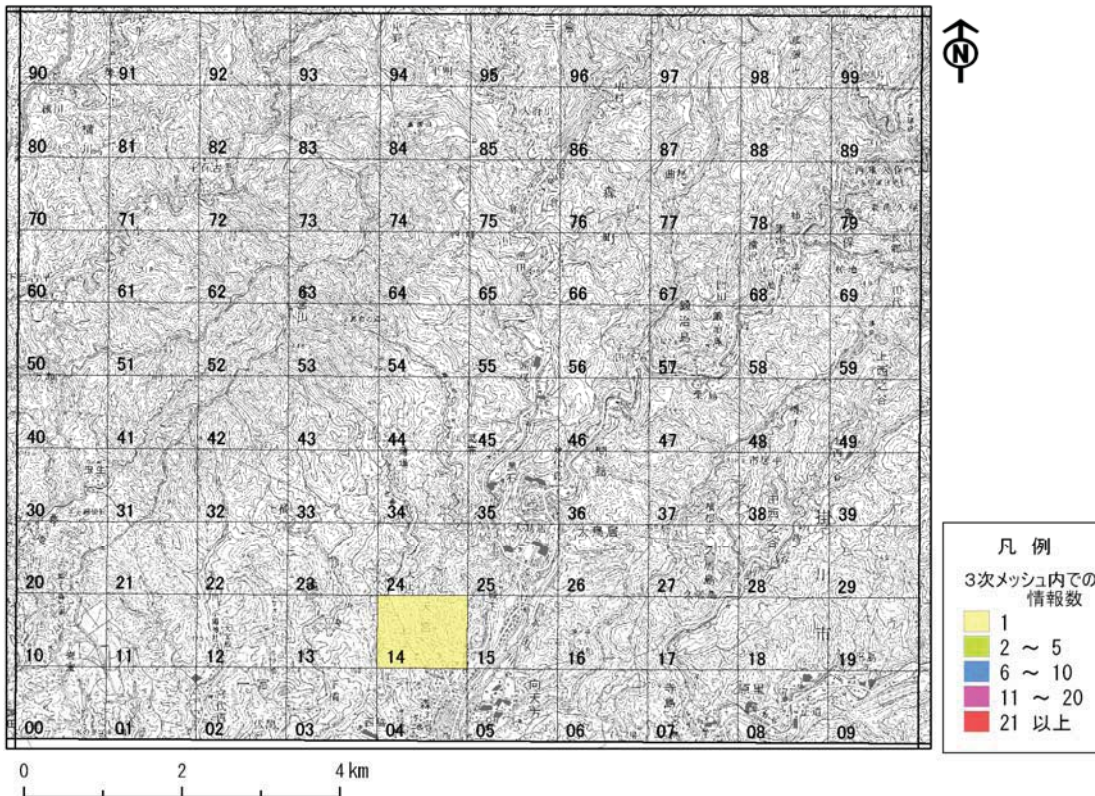
■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）



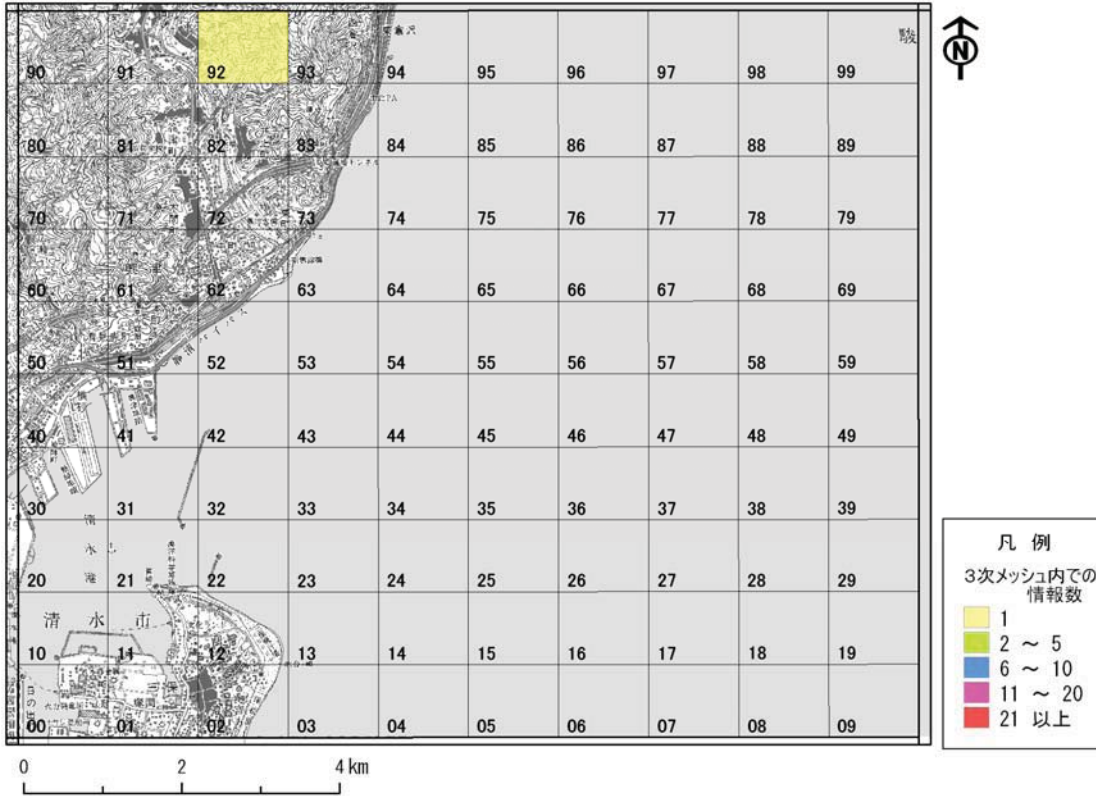
■各地の分布情報（3次メッシュ）
523705



523727



523844



(47) ノーザンパイク

魚類

分類：カワカマス目カワカマス科カワカマス属

学名：*Esox lucius*

■原産地と分布

原産地は北アメリカ、ヨーロッパ北西部、アジア北部

■形態的特徴

体は長い。頬部（ほほ）部の全体と鰓蓋（えらぶた）部の上半分が鱗で覆われる。口が大きく、クチバシ状をなし、アヒルのようにみえる。下顎は上顎よりも前につきだす。下顎の感覚孔の数は片側に10～11。鰓条骨（さいじょうこつ）の数は片側に13～16。側線（そくせん）は体背側の輪郭にほぼ平行してゆるやかにカーブし、頭部から尾鰭（おびれ）の“付け根”まで連続する。背鰭（せびれ）と臀鰭（しりびれ）は体のかなり後方にあり、上下相對峙する。背鰭は15～19軟条、臀鰭は12～15軟条。胸鰭（むなびれ）は下位につく。腹鰭（はらびれ）は胸鰭と尻鰭のほぼ中間に位置する。尾鰭の後縁はあさく湾入する。鱗は細かく、側線鱗数は119～129。成魚の体色は通常、緑褐色で、黄淡色の小斑がある。稚魚では、不規則な多数の暗色斑紋があり、横帯状となる。最大で全長150cmとされるが、ふつうは50～70cm程度まで。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(48) マスキーパイク

魚類

分類：カワカマス目カワカマス科カワカマス属

学名：*Esox masquinongy*

■原産地と分布

原産地は北アメリカ東部の五大湖周辺

■形態的特徴

体は長い。頬部（ほほ）部と鰓蓋（えらぶた）部は上半分が鱗で覆われる。口は大きく、アヒルのクチバシ状をなす。下顎は上顎よりも前につきだす。下顎の感覚孔の数は片側に6～9鰓条骨（さいじょうこつ）の数は片側に17～19。側線（そくせん）は体背側の輪郭にほぼ平行してゆるやかにカーブし、頭部から尾鰭（おびれ）の“付け根”まで連続する。背鰭（せびれ）と臀鰭（しりびれ）は体のかなり後方にあり、上下相對峙する。背鰭は15～19軟条、臀鰭は14～16軟条。胸鰭（むなびれ）は下位につく。腹鰭（はらびれ）は胸鰭と尻鰭のほぼ中間に位置する。尾鰭の後縁はあさく湾入する。鱗は細かく、側線鱗数は130～157。成魚の体色は通常、緑褐色で、不規則な多数の黒半斑紋があり、横帯状となる。ただし、斑紋は変化に富んでいる。最大で全長180cmとされるが、ふつうは80～120cm程度まで。

■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）

情報なし。

(49) カダヤシ

魚類

分類：カダヤシ目カダヤシ科カダヤシ属

学名：*Gambusia affinis*

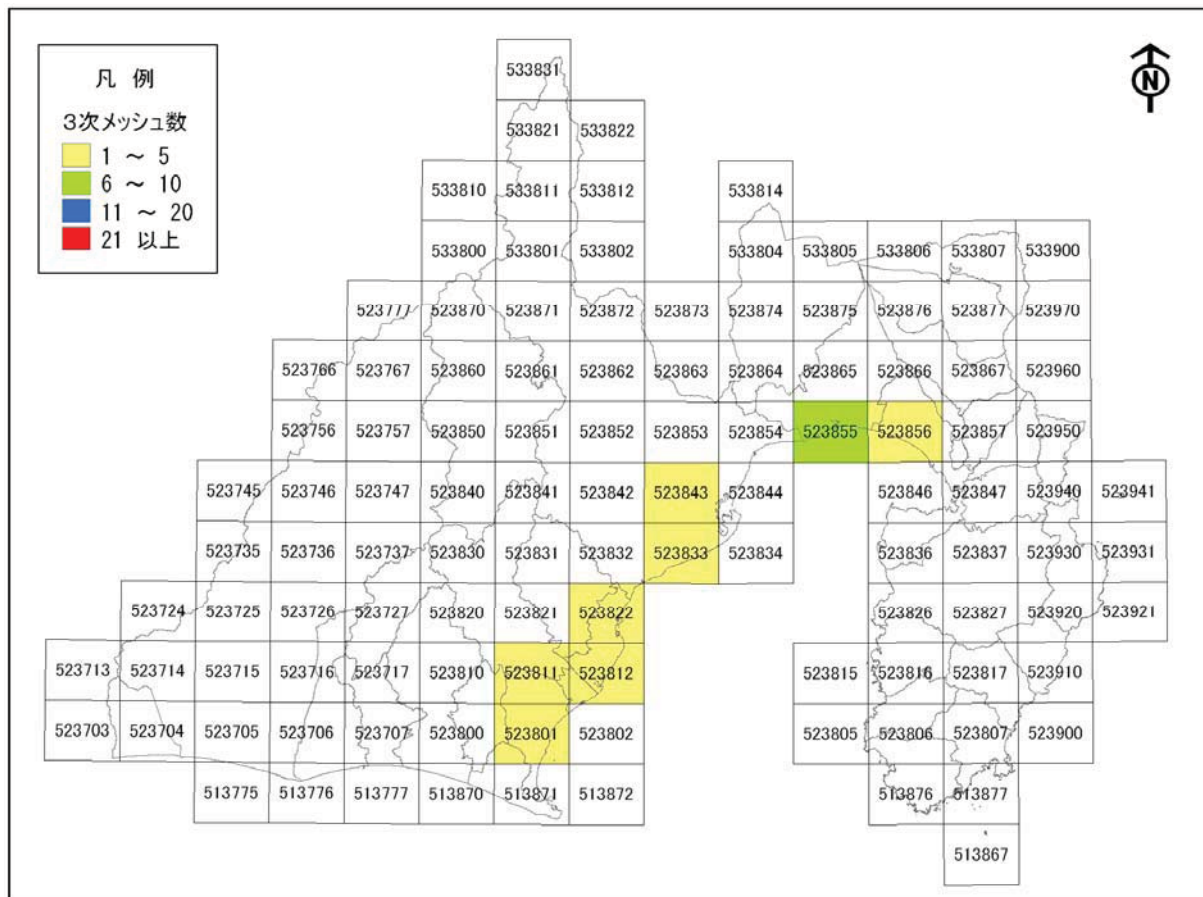
■原産地と分布

原産地は北アメリカ（メキシコ北部～アメリカ合衆国ミシシッピ川流域）。現在では、移植により、日本を含む世界各地に分布する。

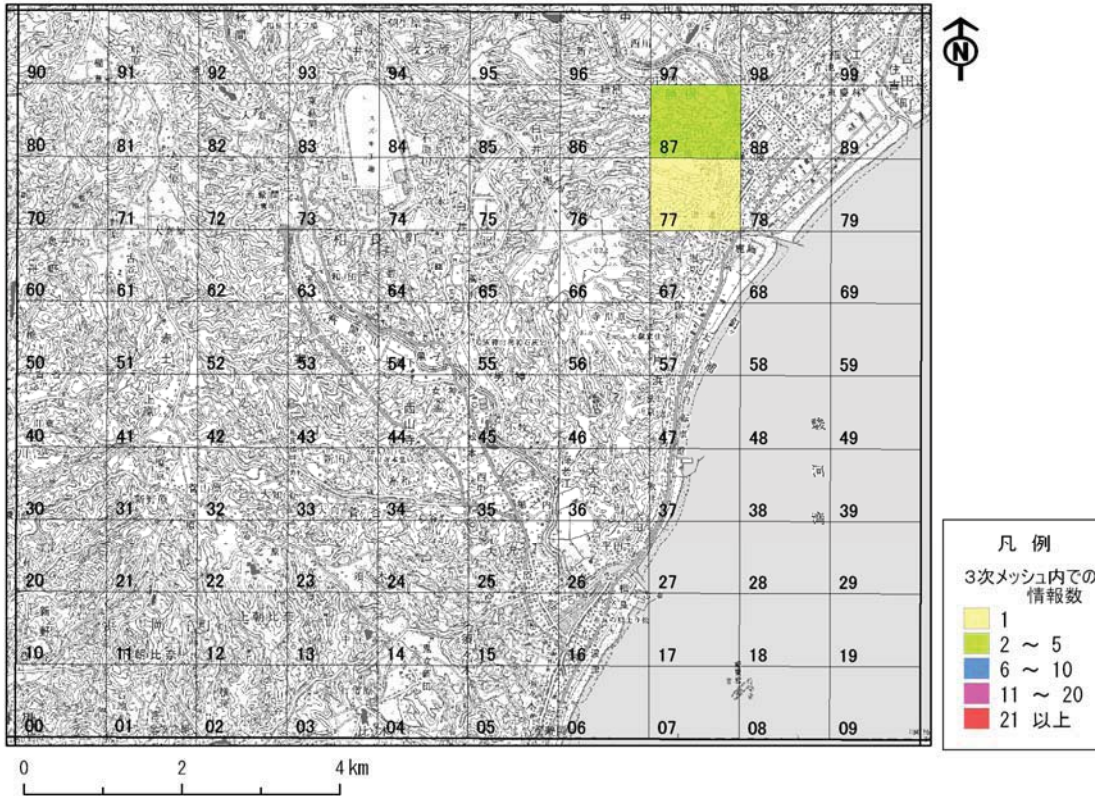
■形態的特徴

体高が低く頭が尖り、メダカに似た体型をしている。口は小さい。背鰭（せびれ）は体の真ん中よりも後方にある。背鰭、臀鰭（しりびれ）ともに基底は短い。メスでは背鰭、臀鰭ともに後端が丸く同じような形をしているが、成熟したオスでは臀鰭は細長く変形して交尾器になる。交尾器は非常に長く、腹鰭（はらびれ）の長さの数倍になる。メスの背鰭基部は臀鰭基底の真ん中よりも後方にある。尾鰭（おびれ）の後縁は丸い。鱗（うろこ）は大きく、側線鱗数は28～32。背鰭前方の鱗数は16～17。体はやや青みがかった灰色～灰褐色。体側上部に小さな黒い点がある事もある。全長はオスで3cm、メスで5cm程度までになる。

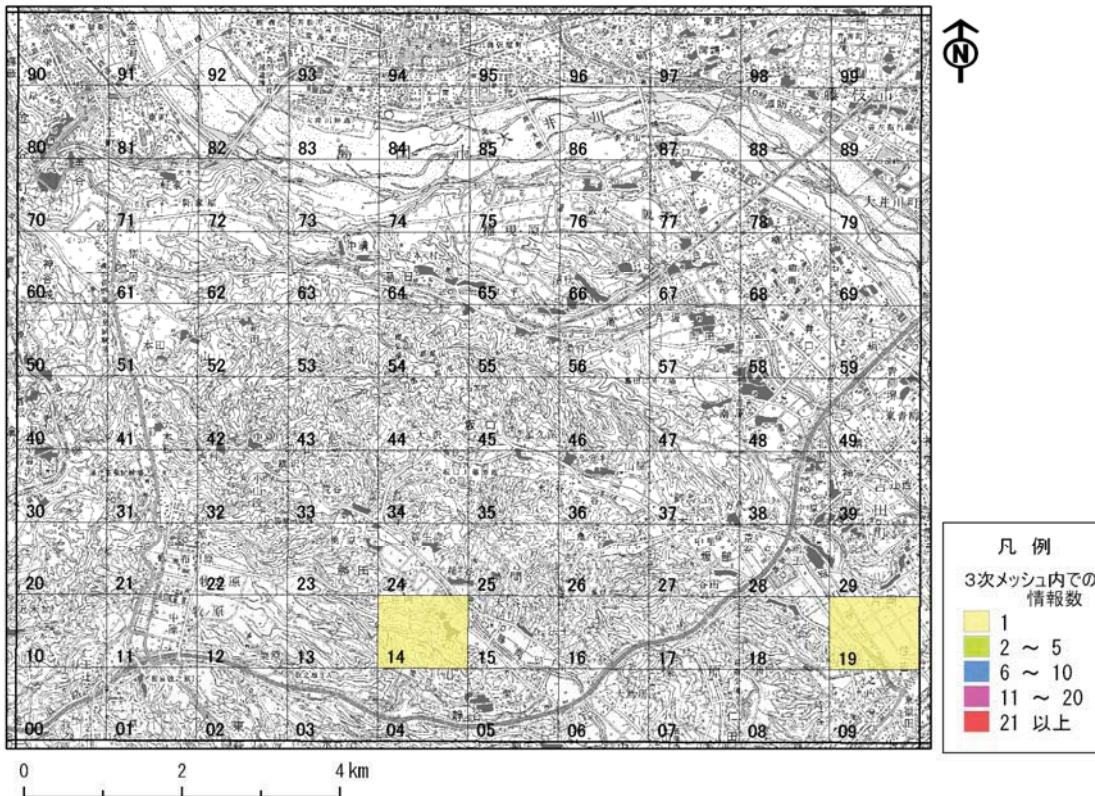
■静岡県内全域の分布情報（2次メッシュ）



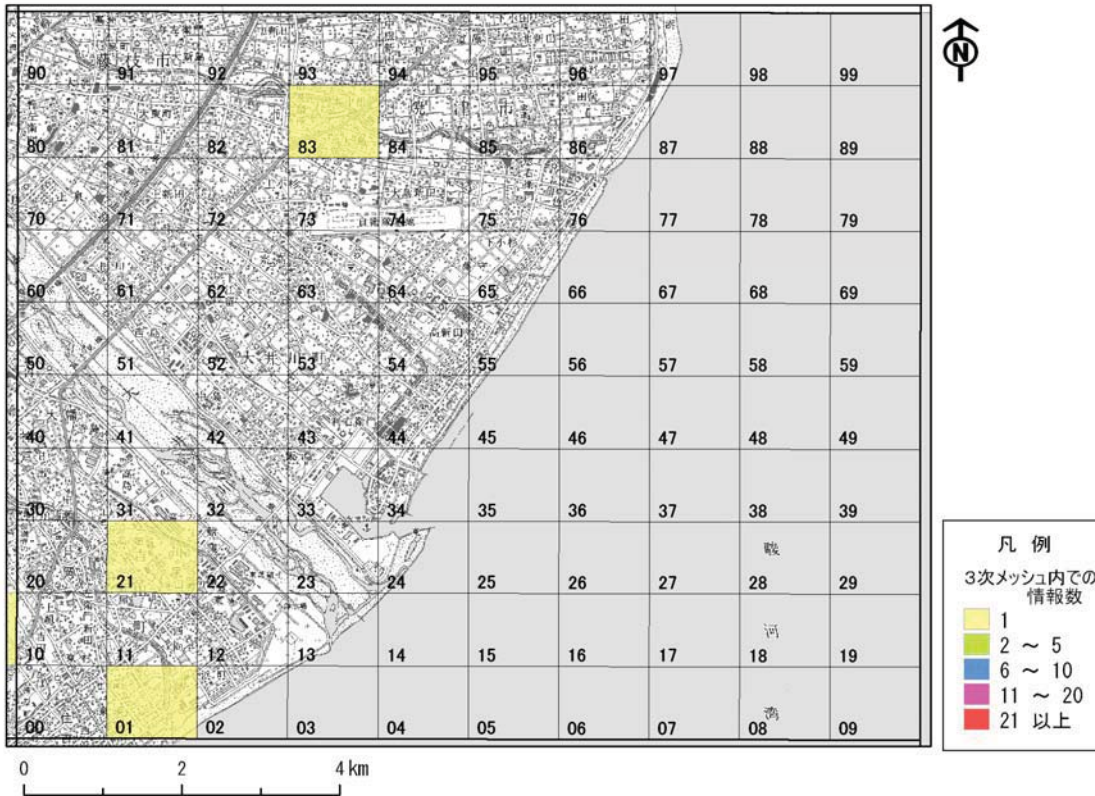
■各地の分布情報（3次メッシュ）
523801



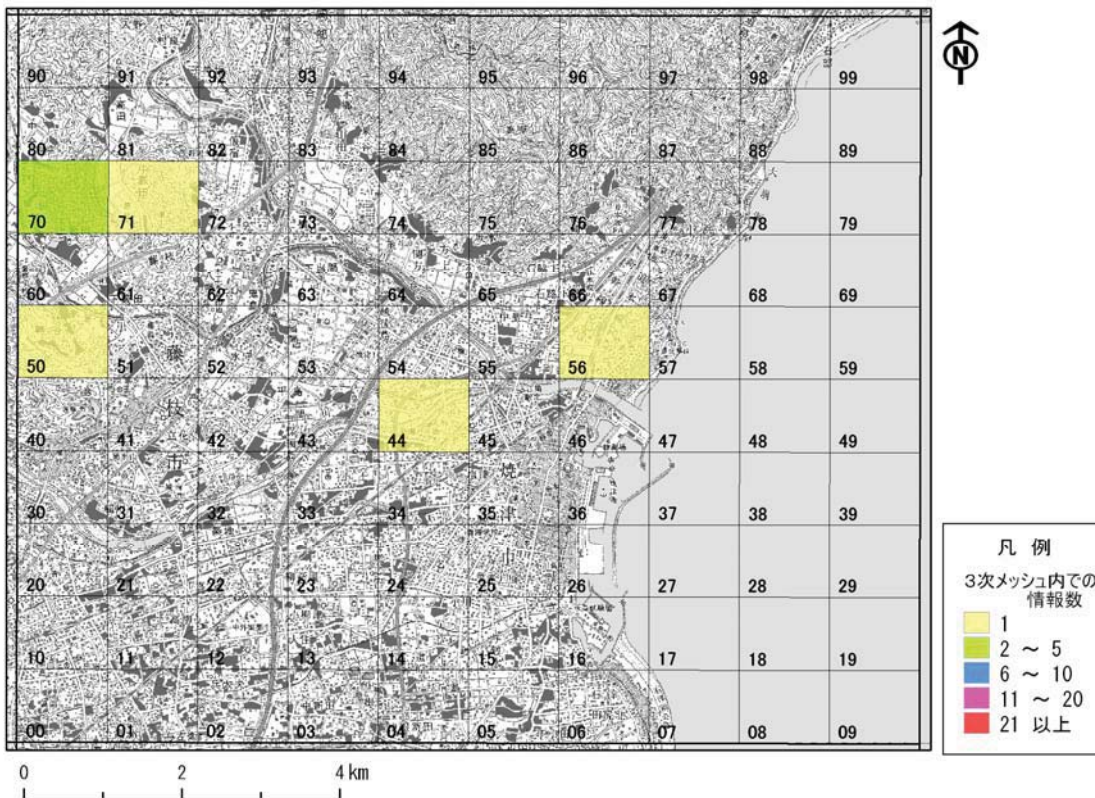
523811



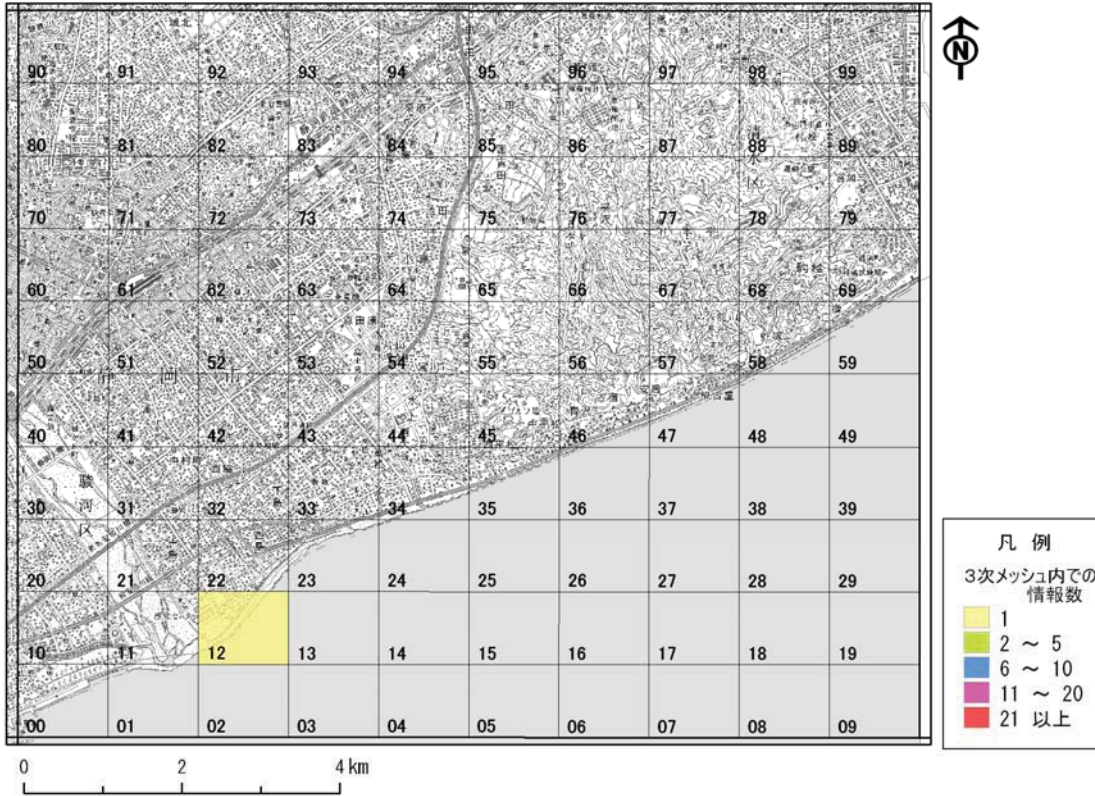
523812



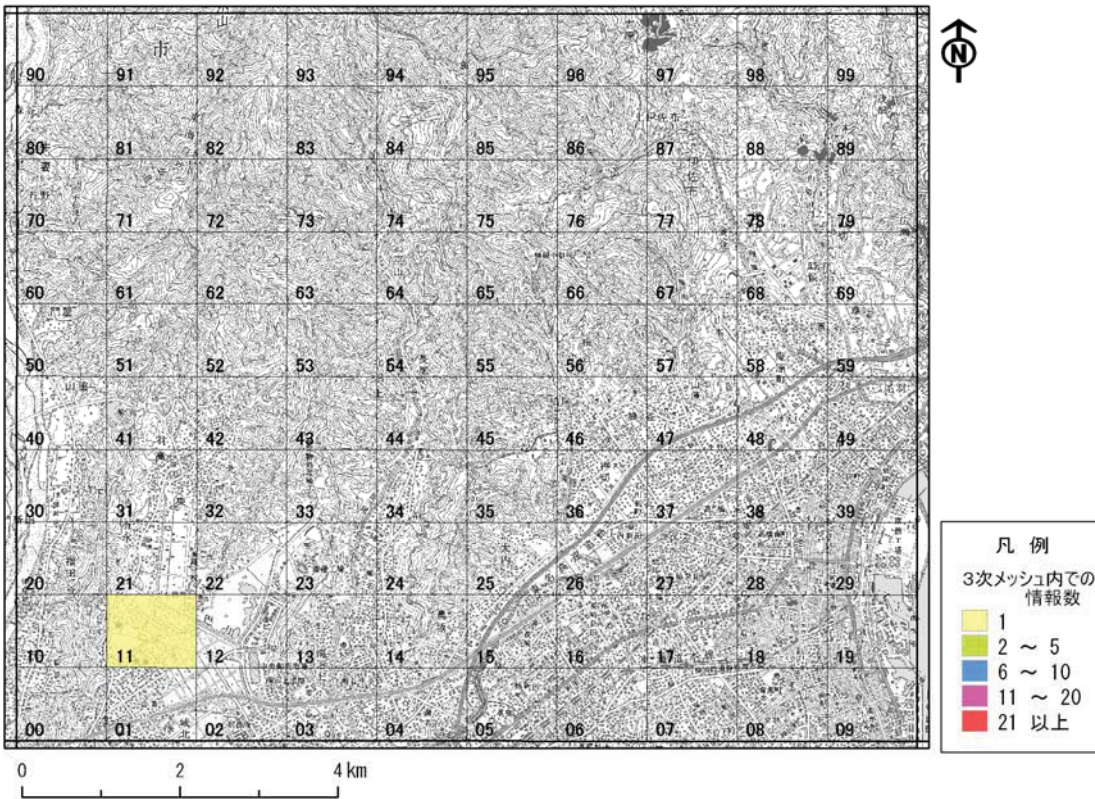
823822



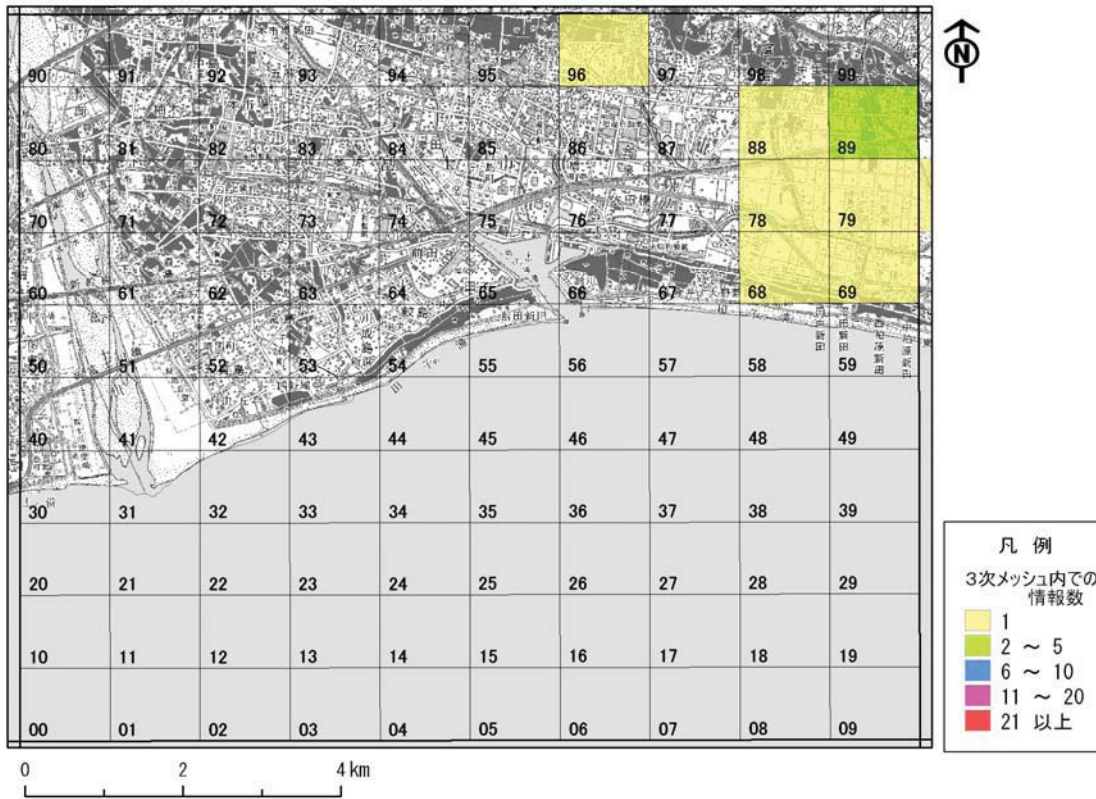
523833



523843



523855



523856

